

地区	地区の現状・情報
長夷	<ul style="list-style-type: none"> ・長夷地区では、准看護師の育成で確保している病院が多い。しかし、准看護師学生は病院に付属していない学生が多くなってきて、合格率も悪くなり確保できなくなっている病院もある。 ・チラシ広告を出しても最近は全く反応がない。という病院が多い。紹介業者を時々しか使用しないところは、最近電話も来ない。
君津	<ul style="list-style-type: none"> ・進学相談 ・看護助手として働いているが看護師になりたい。 進学の方法、学校、学費等について2回に渡り面談。 就職希望で訪れたが条件が合わないため管内の他施設を紹介。 ・退職する職員に対してナースセンターへの登録ハガキを渡し、登録を勧めた。 ・2施設で講習会は実施出来るが、問い合わせのある方は、相談・見学・面接のみで講習会を希望する方はいなかった。君津地区では、看護職の絶対数が少なく、地域内で職場を変えるか、新規の方は転居等でこちらに来られる方くらいである。中小の病院では業者の紹介がメインとなっている。地域の中で、職場を替える方もいる為、24年度は地区部会の施設連絡会でワークライフバランスの現状や対策方法について、共有し学びを得ることが出来た。
安房	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師不足は改善なく、各施設で募集をかけている状態が続いている。 ・潜在看護師の職場復帰に対して、各施設で研修等も組み入れているが、参加者が少なく、指導・研修するための時間・労力・金銭がかかる。できれば、潜在看護師研修に対して補助金制度等があると良いという意見が多い。 ・新人看護師の確保に向け、平成26年度に太陽会で看護学校を開校する予定。40名定員であるが、教員がまだ集まらない。教員育成にも協力が欲しい。 ・安房の市町単位で看護師確保に向け奨学金制度を継続的に行っている。利用者も多くなった。今後も、行政に協力を依頼していきたい。しかし、高齢化は千葉県下1位で医療を必要としている人が多く、また老老介護で施設に入所したくても入ることができなく在宅療養を強いられている。医療・福祉の充実と掲げているが、現状は追いついてない。 ・看護師育成に向け中学校に看護職理解に向けた関わりを行おうと教育委員会等に話を持っていったが、ひとつの職種だけ研修会を行うことは難しいとの回答があり、次年度に向け対策を検討中である。高校に関しては、健康福祉センターと共同で進路ガイダンスを行っている。今年度は、4校を予定している。うち2校終了した。 ・再就業支援講習会等の募集をかけても、希望者がいない。その為、講習会を開く意味を感じず実施していないという病院もある。 ・潜在看護師の職場復帰に対して、各施設で研修等も組み入れているが、参加者がいなく相談なし。 ・看護師確保に向け、平成26年度に太陽会で看護学校を開校する予定。期待する。安房地域病院・施設で連携して育成に力を入れる予定で話し合っている。 ・安房の市町単位で看護師確保に向け奨学金制度を継続的に行っている。利用者も多くなった。今後も、行政に協力を依頼していきたい。しかし、高齢化は千葉県下1位で医療を必要としている人が多く、また老老介護で施設に入所したくても入ることができなく在宅療養を強いられている。医療・福祉の充実と掲げているが、現状は追いついてない状態は変わらない。 ・看護師育成に向け高校に進路ガイダンスに介入している。健康福祉センターと共同で継続していく予定。今年度は3校実施した。参加者も1校あたり40名くらい。興味関心はあるが、質問はなかった。

4 看護職の確保定着動向調査

調査の目的

看護職の確保定着対策の一環として、毎年、新人看護職の現状や、離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件、さらに、病院における看護職の需給動向や教育研修体制、労働条件、確保定着対策を把握し、第2次看護職確保・定着対策推進計画の評価及び今後の看護職の確保定着対策の基礎資料とする。

調査対象及び調査方法、調査期間

調査対象	調査方法	調査期間
千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収	平成24年9月5日～平成24年9月20日
千葉県看護協会主催の新人研修受講生	新人研修（フレッシュセミナー）にて調査票を配布・回収	平成24年10月9、10、11、15、16、17、18日（7日間）
求人施設（病院の看護管理者）	返信用封筒を同封した調査票を郵送・回収	平成24年9月5日～平成24年9月20日

調査結果の概要

1 千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職

対象者数： 171名回収数： 76名（回答率： 44.4%）

(1) 求職者の現住所

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛
29	3	11	14	1	3
38.2%	3.9%	14.5%	18.4%	1.3%	3.9%

印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	県外
8	1	2	1	2	0	1
10.5%	1.3%	2.6%	1.3%	2.6%	0.0%	1.3%

(2) 離職時の職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
12	2	55	6	1
15.8%	2.6%	72.4%	7.9%	1.3%

(3) 求職者の年齢構成

20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
0	2	34	25	11	4
0.0%	2.6%	44.7%	32.9%	14.5%	5.3%

(4) ブランク期間

0～3年	4～5年	6～10年	11年以上	無回答
56	5	11	3	1
73.7%	6.6%	14.5%	3.9%	1.3%

(5) 看護業務の通算勤務年数

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
2	3	15	12	13	13	13	5
2.6%	3.9%	19.7%	15.8%	17.1%	17.1%	17.1%	6.6%

(6) 離職理由(複数回答)

定年退職	契約期間満了	結婚	出産育児 子供のため	配偶者の 転勤	老親の世話 家族の介護	家事と両立 しない	健康上の 理由	自分の適正 能力への 不安	リターンの ため
2	3	10	19	11	3	4	10	6	0
2.6%	3.9%	13.2%	25.0%	14.5%	3.9%	5.3%	13.2%	7.9%	0.0%

通勤困難	転居	他分野への 興味	進学	看護職に 向いて いない	人間関係	看護内容 への不満	継続教育が ない	賃金への 不満	労働時間へ の不満
5	11	2	1	1	14	11	1	8	3
6.6%	14.5%	2.6%	1.3%	1.3%	18.4%	14.5%	1.3%	10.5%	3.9%

夜勤回数が 多い	残業量が多 い	福利厚生が 十分でない	休みが取れ ない	その他	その他
0	4	2	3	7	○看護レベルの低さ ○求職票に表記されていた内容と違った ○事業縮小のため、閉院 ○勤務日数の減少による生活困難
0.0%	5.3%	2.6%	3.9%	9.2%	

(7) 仕事を続けられる理由(複数回答)

保育所があ る(夜間保 育含む)	育児制度が 利用できる	介護休暇が とれる	休みがとり やすい	超過勤務が 少ない	夜勤回数が 少ない	夜勤がない	柔軟な勤務 形態の導入	自分の希望 する給与	通勤に便利 な職場
11	7	1	41	19	2	14	24	9	41
14.5%	9.2%	1.3%	53.9%	25.0%	2.6%	18.4%	31.6%	11.8%	53.9%

看護内容が 充実してい る	自分の能力 が活かせる	継続教育が 充実してい る	希望する看 護領域であ る	資格取得 支援がある	無回答
10	17	4	18	3	3
13.2%	22.4%	5.3%	23.7%	3.9%	3.9%

2 千葉県看護協会主催の新人研修受講生

対象者数：951名 回収数：825名 (回答率：86.8%)

(1)性別

女性	男性	無回答
725	95	5
87.9%	11.5%	0.6%

(2)職種

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
6	13	764	34	8
0.7%	1.6%	92.6%	4.1%	1.0%

(3)勤務形態

常勤	非常勤	無回答
803	3	19
97.3%	0.4%	2.3%

(4)これまでに辞めたいと考えた理由(複数回答)

自分は看護職に向いていないのではないかと思う	304	36.8%
勤務時間内の仕事が終わらない	282	34.2%
配属部署の専門的な知識や技術が不足している	280	33.9%
医療事故を起こさないか心配である	277	33.6%
基本的な技術が身につけていない	218	26.4%
自分の看護が患者のニーズにこたえているか自信がない	194	23.5%
仕事の優先順位が付けられない	188	22.8%
職場の先輩に質問しづらい	162	19.6%
自分のペースで仕事ができない	162	19.6%
ヒヤリハットレポートを書いた	159	19.3%
就職前に考えていた看護の仕事とギャップが大きい	154	18.7%
職場の雰囲気になじめない	151	18.3%
看護職を辞めたいと思っている	123	14.9%
与えられる課題等があつて休日に休めない	119	14.4%
受け持ち患者が多すぎる	106	12.8%
看護業務以外の業務が多すぎると感じる	97	11.8%
プリセプターと合わない	81	9.8%
十分な教育研修が受けられていないと感じる	71	8.6%
医師との意思疎通がうまくいかない	69	8.4%
患者及び家族とのコミュニケーションがうまくとれない	55	6.7%
夜勤に入るのが早いと感じる	52	6.3%
交代制の勤務に慣れない	46	5.6%
直属の上司からサポートが得られない	44	5.3%
プリセプターからの1人立ちが早いと感じる	43	5.2%
電話の対応がうまくできない	41	5.0%
院内のITシステムがうまくいかない	31	3.8%
夜勤のリーダー業務が負担である	17	2.1%

(5) 辞めることを思いとどまった理由(複数回答)

生活していくための手段	339	41.1%
収入が安定しているから	152	18.4%
自分なりに整理がついたから	129	15.6%
同僚に相談し、再度やる気になったから	101	12.2%
職場環境が仕事をしやすい環境だったから	70	8.5%
目的・目標を持てたから	40	4.8%
看護管理者が尊敬できたから	26	3.2%
仕事にいきがいを感じたから	22	2.7%
師長等中間管理職に相談し、再度やる気になったから	21	2.5%
上司に認めてもらえたから	15	1.8%
給料が仕事に見合っていたから	7	0.8%
研修の機会が用意されたから	3	0.4%
結婚・出産・育児に家族の協力が得られたから	2	0.2%
その他	76	9.2%

その他

- | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 奨学金返済のため | <input type="checkbox"/> 部署変更 | <input type="checkbox"/> 仕事に慣れてきたから |
| <input type="checkbox"/> 患者からの感謝 | <input type="checkbox"/> 先輩のサポート | <input type="checkbox"/> 勇気がない |
| <input type="checkbox"/> 家族のため | <input type="checkbox"/> 友人の励まし | <input type="checkbox"/> 辞めさせてもらえない |

3 求人施設（病院の看護管理者）

対象施設数：279名 回収数：172名 （回答率：61.6%）

(1) 施設の所在地

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷	君津	安房
36	8	27	12	8	20	16	14	3	10	7	11
20.9%	4.7%	15.7%	7.0%	4.7%	11.6%	9.3%	8.1%	1.7%	5.8%	4.1%	6.4%

(2) 稼働病床数

①医療保険適用病床の有無

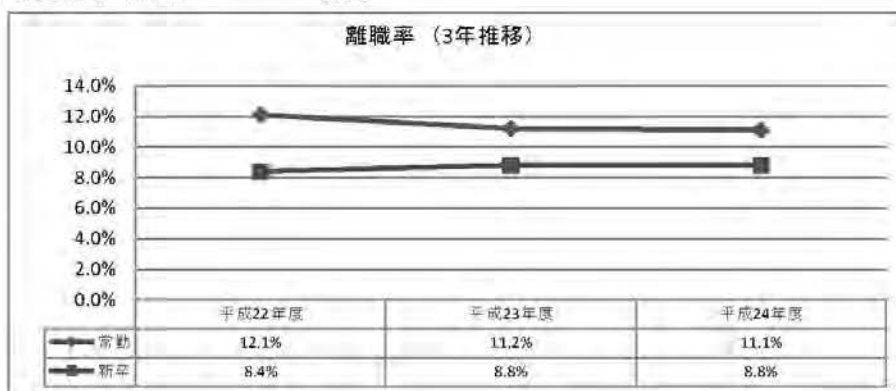
あり	病床数	なし	無回答
171	35,986	1	0
99.4%		0.6%	0.0%

②介護保険適用病床の有無

あり	病床数	なし	無回答
17	1,363	140	15
9.9%		81.4%	8.7%

(3) 常勤看護職員の離職率 11.1%

(4) 新卒看護職員の離職率 8.8%



(5) 2012年4月分の1か月当たりの超過勤務時間(60時間以上)の常勤看護職員数は、1施設1名であった。

(6) 看護職員の超過勤務を減らす具体的な対応策(複数回答)

対策している (n=156)							特になし	無回答
看護職員の増員	看護職員以外の職員の増員	看護職員の業務分担の見直し	看護職員と他職種との業務調整	業務量に応じた柔軟な人員配置	その他			
156	88	68	125	97	90	21	6	10
90.7%	56.4%	43.6%	80.1%	62.2%	57.7%	13.5%	3.5%	5.8%

その他

- | | | |
|---|------------------------------|---------------------|
| ○ 時差出勤 | ○ 遅番の導入 | ○ 遅番早番等の業務量に応じた勤務調整 |
| ○ 業務整理・見直し | ○ 承認早退制度 | ○ スタッフの意識改革 |
| ○ 電子カルテの導入 | ○ 看護必要度、病床回転率に応じた配置 | |
| ○ 助勤体制(病棟間) | ○ 人員数に応じた稼働ベッドの調整、他部署からの支援体制 | |
| ○ ノー残業デーの設定 | ○ フレックスタイム出勤による業務調整 | |
| ○ 病棟担当科の編成調整で業務量の平均化、パス導入(記録の削減) | | |
| ○ 補助者のリリーフ体制(外来・手術室・病棟の短時間リリーフ体制) | | |
| ○ 回復期病棟に、病棟クランク配置(入退院に係る業務を担当)→ナースの仕事・残業の減少 | | |
| ○ 看護学校進学希望者を職員や家族、親類にも声掛け | | |

(7)多様な勤務形態導入状況(複数回答)

導入している (n= 124)											無回答
フレックス タイム	ジョブ・ シェアリン グ	時差出勤 終業	在宅勤務	学期間 労働	期間限定 労働時間 短縮	年間労働 時間 契約制	圧縮労働 時間制	短時間 正職員 制度	その他		
124	29	1	81	0	9	18	14	3	44	11	48
72.1%	23.4%	0.8%	65.3%	0.0%	7.3%	14.5%	11.3%	2.4%	35.5%	8.9%	27.9%

その他

<input type="checkbox"/> 育児短時間制度	<input type="checkbox"/> 日勤常勤、夜勤専従
<input type="checkbox"/> 個人の事情に応じて勤務時間、日を設定	<input type="checkbox"/> 日勤のみ正規職員制度
<input type="checkbox"/> 職員より申し出があれば検討、考慮	<input type="checkbox"/> 早番、遅番のみ
<input type="checkbox"/> 時短正職員制度	<input type="checkbox"/> 夜勤専従正職員制度
<input type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 夜勤の選択→3交替または2交替

(8)今般の育児・介護休業法の改正に伴う取り組み状況

取り組んでいる (n= 165)							無回答
看護職員 の増員	看護職員 以外の職員 の増員	看護職員 の業務分担 の見直し	看護職員 と他職種と の業務調整	業務量 に応じた柔軟 な人員配置	その他		
165	95	55	64	53	94	6	16
95.9%	57.6%	33.3%	38.8%	32.1%	57.0%	3.6%	9.3%

その他

<input type="checkbox"/> 現在、育休・介護休業対象者がいない
<input type="checkbox"/> 対象となる職員が極めて少ないので、特別の取組は行っていない
<input type="checkbox"/> 代替要員の採用
<input type="checkbox"/> 短時間職員制度、パート制度の導入

(9)看護職員の卒後の教育研修体制

①教育部門の教育研修責任者の配置状況

配置あり				配置なし	その他 (兼任)
	専従	専任	両方		
127	33	93	1	44	1
73.8%	19.2%	54.1%	0.6%	25.6%	0.6%

②新卒看護職員の研修を企画・評価する組織(委員会等)の設置状況

あり	なし	無回答
122	48	2
70.9%	27.9%	1.2%

(10) 新卒看護職員の教育研修体制について

	業務に支障なく研修を受講できる人員配置	看護部門に教育研修責任者を配置	病棟、外来等の部署単位に教育研修担当者を配置	教育研修を企画・評価する組織を設置	病院内連携による教育研修の実施	教育研修担当者の資質向上のための支援	教育研修担当者の業務量への配慮	その他	特になし	無回答
すでに取り組んでいる	76 44.2%	98 57.0%	71 41.3%	104 60.5%	45 26.2%	86 50.0%	43 25.0%	7 4.1%	10 5.8%	22 12.8%
取り組みの拡充・新たに開始予定	11 6.4%	14 8.1%	6 3.5%	9 5.2%	14 8.1%	18 10.5%	12 7.0%	0 0.0%	0 0.0%	124 72.1%

その他

<input type="checkbox"/> e-ラーニング導入	<input type="checkbox"/> インターネット配信の研修を全員が受けられるようにした
<input type="checkbox"/> ローテーション研修	<input type="checkbox"/> 指導者育成、管理者養成を院内全体で実施
<input type="checkbox"/> 看護協会の新人研修会への出張扱いでの出席	

(11) 全看護職員の卒後研修体制のシステム化状況

システム化されている	システム化されていない	検討中	無回答
76	55	35	6
44.2%	32.0%	20.3%	3.5%

(12) クリニカルラダー(キャリア開発ラダー)導入状況

導入している	導入していない	検討中	無回答
60	73	33	6
34.9%	42.4%	19.2%	3.5%

(13) 離職希望者に対する相談窓口の設置等離職防止に向けての体制整備について

できている	(複数回答)				できていない	無回答
	院内に相談窓口設置	就業協力員の紹介	千葉県ナースセンターの案内	無回答		
80	65	3	17	4	87	5
46.5%	37.8%	1.7%	9.9%	2.3%	50.6%	2.9%

4 看護職の再就業者実態調査

(1) 調査の目的

ナースセンター事業において再就業した者の実態を把握し、今後の再就業促進に向けた支援方法のあり方を検討する。

(2) 調査対象及び調査方法、調査期間

調査対象	調査方法	調査期間
千葉県在住の平成23年度 千葉県ナースセンター登録の再就業者 (臨時雇用にて就業した者を除く)	返信用封筒を同封した調査票を 郵送・回収	平成25年1月16日～ 平成25年1月31日

(3) 調査結果の概要

対象者数： 219名 回収数： 107名 (回収率： 48.9%)

① 回答者現居住地

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛
41	5	16	9	7	9	9
38.3%	4.7%	15.0%	8.4%	6.5%	8.4%	8.4%
利根	山武	長夷	君津	安房	県外	無回答
0	4	1	3	0	1	2
0.0%	3.7%	0.9%	2.8%	0.0%	0.9%	1.9%

② 資格

保健師	助産師	看護師	准看護師	無回答
25	2	70	8	2
23.4%	1.9%	65.4%	7.5%	1.9%

③ 就職時の就業状況

就業中	未就業	無回答
43	60	4
40.2%	56.1%	3.7%

④ 年齢

	(n=107)			
		未就業 (n=60)	転職 (n=43)	無回答 (n=4)
24歳以下	1 0.9%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%
25～29歳	5 4.7%	2 3.3%	3 7.0%	0 0.0%
30～34歳	10 9.3%	3 5.0%	7 16.3%	0 0.0%
35～39歳	19 17.8%	12 20.0%	7 16.3%	0 0.0%
40～49歳	47 43.9%	27 45.0%	18 41.9%	2 50.0%
50～59歳	16 15.0%	10 16.7%	4 9.3%	2 50.0%
60歳以上	7 6.5%	4 6.7%	3 7.0%	0 0.0%
無回答	2 1.9%	1 1.7%	1 2.3%	0 0.0%

⑤ 未就業者のブランク期間

6か月未満	～1年	～2年	～3年	～4年	～5年	～10年	～15年
18	7	5	2	2	1	4	2
30.0%	11.7%	8.3%	3.3%	3.3%	1.7%	6.7%	3.3%
～20年	20年以上	無回答					
2	1	12					
3.3%	1.7%	20.0%					

⑥ 現在勤務している施設で働き続けられている理由（複数回答）

	現在就業中である			
	(n=87)	未就業 (n=46)	転職 (n=38)	無回答 (n=3)
再就業支援のプログラムがあった	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
プリセプターがついてくれる	3	0	3	0
	3.4%	0.0%	7.9%	0.0%
看護ケアが充実している	3	1	2	0
	3.4%	2.2%	5.3%	0.0%
キャリアアップの機会がある	6	2	4	0
	6.9%	4.3%	10.5%	0.0%
医療安全対策が充実している	3	0	3	0
	3.4%	0.0%	7.9%	0.0%
上司との関係が良い	27	14	12	1
	31.0%	30.4%	31.6%	33.3%
同僚との関係が良い	37	20	16	1
	42.5%	43.5%	42.1%	33.3%
勤務時間が自分の生活スタイルに合っている	48	29	18	1
	55.2%	63.0%	47.4%	33.3%
短時間勤務ができる	7	6	1	0
	8.0%	13.0%	2.6%	0.0%
夜勤を軽減・免除する体制がある、又は夜勤がない	26	10	15	1
	29.9%	21.7%	39.5%	33.3%
休暇が取りやすい	27	16	11	0
	31.0%	34.8%	28.9%	0.0%
給与が希望にあっている	23	11	11	1
	26.4%	23.9%	28.9%	33.3%
通勤に便利	40	22	17	1
	46.0%	47.8%	44.7%	33.3%
福利厚生が充実している	6	3	3	0
	6.9%	6.5%	7.9%	0.0%
子育て支援策が充実している	5	4	1	0
	5.7%	8.7%	2.6%	0.0%
家族の支援がある	12	6	6	0
	13.8%	13.0%	15.8%	0.0%
その他	10	3	6	1
	11.5%	6.5%	15.8%	33.3%

⑦ 再就業のきっかけ（複数回答）

	(n=107)	未就業 (n=60)	転職 (n=43)	無回答 (n=4)
今までに得た職業経験や技術・資格を活かす	61 57.0%	35 58.3%	22 51.2%	4 100.0%
専門的な経験をより高めたい	25 23.4%	14 23.3%	11 25.6%	0 0.0%
社会に出たい	26 24.3%	16 26.7%	7 16.3%	3 75.0%
友人・知人にすすめられた、誘われた	1 0.9%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%
生活費のため	40 37.4%	22 36.7%	18 41.9%	0 0.0%
子育てが一段落し、自由な時間ができた	16 15.0%	13 21.7%	2 4.7%	1 25.0%
将来や老後への備えた貯蓄	19 17.8%	9 15.0%	10 23.3%	0 0.0%
自分で自由に使える収入を得る	22 20.6%	14 23.3%	7 16.3%	1 25.0%
教育費や住宅費(住宅ローンを含む)のため	15 14.0%	8 13.3%	6 14.0%	1 25.0%
その他	15 14.0%	6 10.0%	9 20.9%	0 0.0%

⑧ 就職先決定の決め手（複数回答）

	(n=107)	未就業 (n=60)	転職 (n=43)	無回答 (n=4)
看護領域・看護内容・業務内容	51 47.7%	28 46.7%	21 48.8%	2 50.0%
勤務時間	66 61.7%	36 60.0%	28 65.1%	2 50.0%
再就業の支援プログラム	4 3.7%	3 5.0%	0 0.0%	1 25.0%
立地(通勤に便利な場所等)	54 50.5%	29 48.3%	23 53.5%	2 50.0%
子育て支援	1 0.9%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%
保育施設	4 3.7%	2 3.3%	2 4.7%	0 0.0%
キャリアアップ支援	5 4.7%	1 1.7%	4 9.3%	0 0.0%
給与	24 22.4%	12 20.0%	11 25.6%	1 25.0%
休日・休暇制度	20 18.7%	8 13.3%	12 27.9%	0 0.0%
宿舍・寮	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
家族の支援・同意	7 6.5%	1 1.7%	5 11.6%	1 25.0%
その他	8 7.5%	5 8.3%	3 7.0%	0 0.0%

5 医療・看護における安全対策

医療安全推進週間の推進

1 第8回 医療安全大会の開催

- (1) 目的： 県民への安全・安心な医療・看護の提供に寄与することを目的に、医療安全推進週間に
する行事として医療安全大会を開催し、医療従事者の意識の向上と組織的取り組みの促進
から医療安全の普及啓発を図る。
- (2) テーマ： 「チームでつくる！医療安全文化」
- (3) 日時： 平成24年11月18日(日) 12:00～17:00
- (4) 会場： 幕張メッセ 国際会議室・中会議室201
- (5) 参加人数： 489名(看護職375名、他職種52名、関係者62名)
- (6) 内容：

①標語の表彰式

優秀賞	「チーム力、高めて防ぐ、医療事故」	帝京大学ちば総合医療センター	中央診療部
佳作	「安全を 明日につなぐ チームの輪」	国保鴨川訪問看護ステーション	田代ひろ子
	「確認は みんなを守る 命づな」	千葉県こども病院	I C U

②基調講演

「患者・家族と医療者との信頼関係を目指して～夫の病気と医療事故を通して感じたこと～」

講師：社会医療法人 阪南医療福祉センター 阪南中央病院

医療安全管理部・患者情報室 院内相談員 北田 淳子

③活動報告

「組織で取り組む安全管理」

東邦大学医療センター佐倉病院 院長補佐・医療安全管理室 室長 龍野 一郎

「23年度の取り組みから」

船橋市立医療センター 看護師長・前医療安全管理室 副室長 善浪 正子

④医療機器メーカーの医療安全対策の説明及び医療機器展示

「接続・設定ミスを減らす取り組み」

株式会社トップ、株式会社ジェイ・エム・エス、ニプロ株式会社、テルモ株式会社、
フクダ電子南関東販売株式会社、日本光電東関東株式会社

- (7) まとめ： 特別講演では、夫を医療事故で亡くされ、また、医療安全対策を推進する立場にある北田
氏に講演いただき、参加者からは、「医療事故当事者の家族からの講演は、今後の対策を
考える上で考えさせられた」という声が聞かれた。

また、新たな取り組みとして医療機器メーカーからの医療安全への取り組みの説明時間
を設定したことは、参加者にとって医療機器の取り扱いについて再認識する機会になった。

課題は、看護職以外の職種の参加が少なく、大会目的である医療関係者が一堂に介し、
医療安全を考える機会とするには至らなかった。次年度は、県へ共催の働きかけを行い、
他職種の参加が増えるようにしていきたい。

2 医療安全に関する標語、ポスターでの普及啓発

(1) 医療安全に関する標語

応募数407作品 (施設数63)

(2) 医療安全ポスター

医療安全に関する標語の優秀賞作品を使用し、医療安全ポスターを作成
県内医療機関や会員施設(団体)に配布

(3) まとめ

医療安全の普及を目的として募集している標語は、応募施設数、作品数とも増加(施設増15、作品増119)した。これは、これまでの会員施設からのみの作品募集を会員施設外の施設にも募集を行ったことによるものが大きい。

他方、他職種からの応募は8作品と少なく、県及び他団体への共催を働きかけることにより普及促進を図っていきたい。

医療安全管理者の育成

1 医療安全担当者交流会の開催

(1) 目的 : 県民に安全で安心な医療・看護を提供するうえで、医療安全対策は最も重要な課題である。近年、チーム医療が推進される中、患者家族もチームの一員とした医療安全への取り組みが進んでいる。

一方、日本看護協会の調査結果をみると、看護職の各年代層において、医療事故の不安を抱え働いている状況である。このような状況を踏まえて、医療安全担当者が交流を深め、各施設における医療安全対策を更に強化するための機会とする。

(2) 日時 : 平成25年3月14日(木) 10:00~16:30

(3) 会場 : 千葉県看護会館 2階大研修室

(4) 参加人数 : 89名(参加者75名、関係者14名)

(5) 内容 :

①講演

「事故当事者の立場から伝えたい医療安全の重要性」

講師：自治医科大学看護学部 基礎看護学 助教 高山詩穂

②グループワーク

内容：参加者の課題(事前提出)をまとめ、解決に向けた検討及び行動計画を立案する
ファシリテーター：千葉県内医療機関において、専従で医療安全管理者として活躍されている9名及び看護協会医療安全担当理事

(6) まとめ :

講演では、事故当事者としての立場から高山氏に講演をいただき、参加者からは「危機感を持つことができ、重大事故が起きた際の対応や事故が起こらない組織づくりのため、自分にできることは何か考えることができた」と感想が聞かれた。また、グループワークでは、地域別に交流が深められようグループ編成を行った結果、「地域連携につながる交流が図れた」等の感想が聞かれるなど、医療安全担当者としての意識の向上につながった交流会になった。

Ⅱ 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

看護職員の資質向上に関する事項

総括

1. 平成24年度生涯教育研修参加状況 p109生涯教育参加状況参照

研修57コース 89回(平成23年度85回) 研修日数244日 受講者数8,013名

(看護必要度評価者院内指導者研修、看護研究学会は含まない)

県内278病院のうち228施設から受講した。

2. 平成24年度生涯教育研修のまとめ

平成22年度より生涯教育を3つのカテゴリーに基づいて実施している。24年度は、千葉県委託事業として新たに「認知症専門職研修体系構築事業」「精神・身体疾患併発患者診療機能支援研修」を実施した。生涯教育研修の従来実施している研修については一層の充実を図ることとした。テーマが同じでも内容の入れ替えや応募者の多い研修については研修日を増加した。会員ニーズを受け、応募の多い研修は複数回開催した。

1. 生涯教育

(1) 資格修得教育

資格修得教育は、資格要件を必要とするもののほか、実践指導や委員会活動において中心的な役割を担うことができる人材育成をめざした研修を4コース実施し、527名が受講した。

「認定看護管理者制度教育課程」では、サードレベル受講をして認定看護管理者となることを目的とすることから、ファーストレベルについては平成23年度より3年の経過措置を経て35歳以下の受講者を優先することとした。その影響か平成23年度112名、平成24年度100名が受講した。また、「認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程」は27名の受講があり、看護管理者教育の関心の高さがうかがえた。

「AHA心肺蘇生法トレーニングコース」は一次救命処置のみの開催とし基本的知識、技術の向上を目指して回数を2回増やし295名が受講した。内容が演習を中心としているため、「大変実践的でよくわかった」、「即実践に活かすことができた」との声があり、多くの看護職が救急に関する知識・技術を身につけ、研修成果を実践に生かすことにつながっていると考える。

(2) ステップアップ研修

① 段階別ステップアップ研修

段階別ステップアップ研修とは、看護の専門性を深め看護実践能力の向上を図るために新人看護職員から中堅看護職、さらに看護管理者までを対象とし、個人のキャリアに応じて段階的に学べる研修であり、13コースを実施し3,020名が受講した。

「新人助産師研修」を平成23年度より千葉県委託研修として実施している。受講希望者は実技研修を伴う研修への参加者14名、研修内容に応じて選択した単日受講者が延べ52名であった。内容別では新生児蘇生法(Bコース)の受講希望者は13名、リフレクション24名であった。

新人看護職員が働き続けられるために実施している「フレッシュセミナー」は、春と秋を受講することで研修の目的を達成する研修であることから平成24年度はセットで受講できるようにした。申し込み者多数のため開催回数を1回増やし959名が受講した。

看護管理者向け、「主任に求められる看護管理者」研修は、A,B、2回の開催日程240名定員に対し、253名が受講した。「看護管理者研修」は日数を5日間に拡大し120名定員に93名の受講者であった。「訪問看護ステーション看護管理者研修」については定員30名のところ13名の参加者であった。研修内容を管理者としてめざす方向

が確認でき自施設に生かして欲しいと考える時、開催日数、時期、開催時間は課題である。

② 領域別ステップアップ研修

領域別ステップアップ研修とは看護の専門性を深め看護実践能力の向上を段階的に図る研修であり、8コースを実施し875名が受講した。

千葉県の委託研修として平成23年度に続き「認知症指導者研修」を開催し、84名の受講があった。5日間という日程を活かし、認知症に関する基本的な知識から実践でのスタッフへの指導方法までを学び、専門病棟だけでなく一般病棟においても実践に役立つ研修となった。平成24年度は、さらに千葉県委託事業として「認知症専門職研修体系構築事業」が既存の研修内容を見直し、関係者から意見を聴取して初心者、中堅者、指導者を対象に研修プログラムを組み、平成25年度に研修を実施することになった。

精神疾患と身体疾患を併発する者の受け入れに際し、精神科のない医療機関の看護職員等が精神疾患患者への知識・経験不足から、他科での受け入れがスムーズに行われなかったといった状況を改善するため、精神科以外の診療科に勤務する看護職員に対し研修等を実施し、精神科以外の治療が行える病院との顔が見えるネットワークの構築を進めることで、精神疾患と身体疾患を併発する患者の受け入れを促進するため「精神・身体疾患併発患者診療機能支援研修」を千葉県委託事業として実施した。募集期間が短期間だったため参加者が定員35名に対し24名にとどまった。講義と精神科実習を行う研修の効果を検証し今後の研修内容の構築を実施していく。

看護研究の指導者が身近にいない看護職のための研究支援の1つとして「看護研究個別支援」には5組の応募があり、千葉大学大学院の教員2名、千葉県立保健医療大学の教員3名がそれぞれ個別に指導を行った。看護研究のテーマの選定、研究計画書の作成、調査研究の実施、論文のまとめ、プレゼンテーション資料の作成、発表まで一貫して1年を通じて個別指導を行った。3月5日には受講者がそれぞれの研究成果を発表し、「1年間とても楽しく研究ができた」、「後輩の指導に生かせる」といった感想が聞かれた。研究が楽しく行えることで看護実践に活かせる研究がさらに増えていくことを期待している。

③ 看護実践教育

看護実践教育とは生涯にわたって医療・看護分野の全般における新たな情報知識を習得する研修であり、32コース実施し3,591名が受講した。

新企画として自己を高めるための「看護師としての成長を支える自己の振り返り」「私の歴史を未来へつなぐ - ポートフォリオ・私の履歴書 -」「リーダーシップ研修 - 問題解決技法 -」を実施した。

振り返りの方法論は異なるがポートフォリオの紹介では、すでに実施している施設からの紹介、講師の助言に会場は一体感に包まれた。目標のイメージが湧き活用したいと全体に高評価だった。問題解決、目標達成のためのツールであり、知識を活用する力、対応力、実行力、伝達力といったコンピテンシーを可視化することで、人に伝え、互いに育み合い、それを発揮させることで、自ら学び成長していく手がかりになる。

主体的な参加が必要と考えられる。

平成24年度 生涯教育研修 参加状況表

H25.3/31現在

研修 No.	回数	研修会名	日数	研修開催日	定員	応募者	決定者	参加者	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他	
									会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員		
1 資格修得教育	1	医療安全管理者養成研修		7	H24.9/4~7.10~12	80	110	110	105	0	0	3	0	101	1	0	0	0
	2	認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程-第31回-		28	H24.6/11~7/20	80	102	102	100	1	0	7	0	92	0	0	0	0
	3	認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程-第12回-		36	H24.8/13~10/11-11/6~28	30	29	28	27	0	0	0	0	27	0	0	0	0
	4	AHA 心肺蘇生法 一次救命処置(BLSコース)	A	1	H24.5.19	50	73	56	55	2	0	0	0	48	3	2	0	0
	5	AHA 心肺蘇生法 一次救命処置(BLSコース)	B	1	H24.5.20	50	68	56	54	0	0	1	0	48	3	2	0	0
	6	AHA 心肺蘇生法 一次救命処置(BLSコース)	C	1	H24.6.16	50	108	56	54	1	0	0	0	49	2	2	0	0
	7	AHA 心肺蘇生法 一次救命処置(BLSコース)	D	1	H24.6.17	50	81	56	53	0	0	0	0	50	0	3	0	0
	8	<追加設定>AHA 心肺蘇生法一次救命処置(BLSコース)	E	1	H24.10.20			53	39	0	0	1	0	37	0	1	0	0
	9	<追加設定>AHA 心肺蘇生法一次救命処置(BLSコース)	F	1	H24.10.21			53	40	0	0	0	0	34	5	1	0	0
2 ステップアップ教育(段階別)	10	フレッシュセミナー(春・秋)	A	2	H24.5/28・10/9	150	139	139	138	3	0	1	1	20	109	0	4	0
	11	フレッシュセミナー(春・秋)	B	2	H24.5/29・10/10	150	149	149	146	0	0	1	0	36	99	1	9	0
	12	フレッシュセミナー(春・秋)	C	2	H24.5/30・10/11	150	136	136	130	0	0	1	0	38	85	2	4	0
	13	フレッシュセミナー(春・秋)	D	2	H24.5/31・10/16	150	142	142	140	1	0	1	2	25	104	1	6	0
	14	フレッシュセミナー(春・秋)	E	2	H24.6/1・10/17	150	153	153	153	0	0	0	3	29	116	1	4	0
	15	フレッシュセミナー(春・秋)(協賛)新人看護職員研修と合同	F	2	H24.6/4・10/18	120	113	113	109	0	1	0	1	24	80	0	3	0
	16	<追加設定>フレッシュセミナー(春・秋)	G	2	H24.6/5・10/15		149	149	143	2	0	2	1	63	63	5	7	0
	17	新人看護職員研修 15日間(実技実習あり)	A	15	H24.4/26~11/2	50	24	24	24	2	0	0	0	4	13	3	2	0
		新人看護職員研修 9日間(実技実習なし)	B	9	H24.4/26~11/2		15	15	15	0	0	0	0	5	7	0	3	0
		新人看護職員研修(単日受講)		1			26	26	26	0	0	0	0	13	13	0	0	0
	18	新人助産師研修(実技実習あり)	A	10	H24.4/27~5/8・9・10(実習6~8日)	20	14	14	13	0	0	7	6	0	0	0	0	0
		新人助産師研修(単日受講)		1			17	17	17	0	0	15	2	0	0	0	0	0
		新人助産師研修(助産師スタディメント)	B	1	H24.6.19		9	9	9	0	0	4	5	0	0	0	0	0
		新人助産師研修(産科救急)	C	1	H24.7.5		7	7	7	0	0	4	3	0	0	0	0	0
		新人助産師研修(医療安全)	D	1	H24.8.7		11	11	11	0	0	10	1	0	0	0	0	0
		新人助産師研修(母乳育児)	E	1	H24.9.18		12	12	12	0	0	4	8	0	0	0	0	0
	23	新人助産師研修(家族への支援・リフレクション)	F	1	H24.10.23	13	13	13	0	0	7	6	0	0	0	0	0	
	8	2年目ナースのためのチームメンバーに求められるメタバックス	A	1	H24.5.14	160	158	158	155	2	0	4	0	148	1	0	0	0
		2年目ナースのためのチームメンバーに求められるメタバックス	B	1	H24.5.17	160	149	149	146	3	0	1	0	141	0	1	0	0
		2年目ナースのためのチームメンバーに求められるメタバックス	C	1	H24.5.18	160	159	159	156	3	0	2	0	151	0	0	0	0
		2年目ナースのためのチームメンバーに求められるメタバックス	D	1	H24.5.21	160	141	141	137	2	0	1	0	129	4	1	0	0
		2年目ナースのためのチームメンバーに求められるメタバックス	E	1	H24.5.22	160	148	148	142	4	0	2	0	136	0	0	0	0
	9	実地指導者研修	A	3	H24.11/13・15・16	120	95	95	93	0	0	2	0	80	11	0	0	0
実地指導者研修		B	3	H24.11/28・29・30	120	104	104	101	0	0	0	1	87	12	1	0	0	
10	実地指導者フォローアップ研修	A	1	H24.6.7	120	72	72	69	0	0	0	0	68	1	0	0	0	
	実地指導者フォローアップ研修	B	1	H24.6.8	120	66	66	65	1	0	0	0	62	0	1	1	0	
11	リーダーシップ研修-問題解決技法	A	2	H24.7/25・26	120	111	111	103	0	0	0	0	101	2	0	0	0	
	リーダーシップ研修-問題解決技法	B	2	H24.7/31・8/1	120	116	116	112	0	0	1	0	107	4	0	0	0	
12	人を育てる臨地実習		3	H24.5/23・24・25	120	145	145	142	1	0	3	0	137	0	1	0	0	
13	新人看護職員研修責任者研修会		5	H24.10/1・2・31・11/1・2	60	43	43	43	0	0	1	1	40	1	0	0	0	
14	主任に求められる看護管理	A	1	H24.8.2	120	132	132	130	2	0	1	0	127	0	0	0	0	
	主任に求められる看護管理	B	1	H24.8.3	120	126	126	123	0	0	4	0	117	2	0	0	0	
	【衛星/看護実習会場】 法律・制度・政策の最新情報とマネジメントの視点	A	2	H24.10/12・13	210	41	41	38	0	0	1	0	37	0	0	0	0	
15	【衛星/福田総合病院会場】 法律・制度・政策の最新情報とマネジメントの視点	B	2	H24.10/12・13	80	41	41	40	0	0	3	0	37	0	0	0	0	
	【衛星/国保甲中央病院会場】 法律・制度・政策の最新情報とマネジメントの視点	C	2	H24.10/12・13	40	13	13	13	0	0	0	0	13	0	0	0	0	
	看護管理者研修		5	H25.1/29・30・31・2/12・13	120	98	98	93	0	0	2	0	91	0	0	0	0	
17	訪問看護ステーション看護管理者研修-情報開示・法令遵守-		1	H24.8.4	30	15	15	13	1	0	0	0	10	2	0	0	0	
(増刊別)	18	【衛星/看護実習会場】 災害医療と看護(基礎編)	A	2	H24.11/8・9	210	186	186	180	0	0	3	0	174	3	0	0	0
		【衛星/福田総合病院会場】 災害医療と看護(基礎編)	B	2	H24.11/8・9	80	23	23	20	0	0	0	0	18	1	0	1	0
	19	災害医療と看護(実践編)		2	H25.3/4・5	70	124	89	85	0	0	1	0	81	3	0	0	0
	20	感染管理(基礎編・実践編)	A	5	H24.8/6・7・9/19・20・21	120	91	91	89	2	1	1	0	78	6	1	0	0
		感染管理(基礎編・実践編)	B	5	H24.10/24・25・11/19・20・21	120	125	125	121	1	2	1	0	109	7	1	0	0
	21	がん看護1・2・3		6	H24.10/29・30・11/26・27・12/3・4	140	112	112	107	2	0	0	0	97	7	1	0	0
	22	認知症看護指導者育成研修		5	H24.8/27~29・9/26・27	70	87	87	84	0	0	1	0	77	5	1	0	0
	23	初めて取り組む看護研究I-基礎編-		3	H24.5/2・7・26	160	152	152	146	0	0	0	0	140	2	3	1	0
	24	初めて取り組む看護研究II-活用編-		2	H24.7/27・12/10	40	38	38	36	0	0	1	0	35	0	0	0	0
	25	看護研究個別支援			H24.8/5~H25.3/6	10	8	8	7	0	0	0	0	7	0	0	0	0

3	看護実践教育	26	51	【衛星/看護協会会場】 臨床に役立つフィジカルアセスメントの基礎	A	2	H24.7/12・13	150	185	179	174	3	0	1	0	158	4	6	2	0
				【衛星/福田総合病院会場】 臨床に役立つフィジカルアセスメントの基礎	B	2	H24.7/12・13	80	35	35	35	2	0	3	0	24	3	3	0	0
		27	52	急性期の看護－胸卒中についてナースを目標そう－	A	2	H25.1/10・11	170	91	91	87	1	0	0	0	82	2	2	0	0
				急性期の看護－胸卒中についてナースを目標そう－	B	2	H25.2/5・6	170	175	175	166	1	0	4	0	148	5	7	1	0
		28	54	透析看護		1	H25.2.8	170	119	119	108	0	0	1	0	91	10	4	2	0
		29	55	医療安全基礎－やってみよう危険予知レコーディングKYT－	A	1	H24.9.13	120	187	144	143	4	0	1	0	131	3	4	0	0
				医療安全基礎－やってみよう危険予知レコーディングKYT－	B	1	H24.9.14	120	167	141	139	0	0	2	0	121	2	12	2	0
		30	57	摂食・嚥下障害を持つ患者の看護	A	2	H24.8/23・24	120	110	110	101	1	0	0	0	94	2	4	0	0
				摂食・嚥下障害を持つ患者の看護	B	2	H24.10/4・5	120	122	122	109	0	0	0	0	96	2	11	0	0
		31	59	最新の褥瘡予防とケア	A	2	H24.11/6・7	170	189	173	163	1	0	0	0	149	4	7	1	1
				最新の褥瘡予防とケア	B	2	H25.1/16・17	170	171	171	151	3	0	2	0	136	1	8	1	0
		32	61	糖尿病患者のセルフケア支援	A	1	H24.12.6	170	134	134	122	3	0	0	0	115	1	2	1	0
				糖尿病患者のセルフケア支援	B	1	H24.12.7	170	87	87	82	4	0	0	0	74	1	3	0	0
		33	63	看護職の倫理的責任－法的責任		2	H24.12/11・12	170	184	174	168	0	1	7	0	158	0	2	0	0
		34	64	看護師としての成長を支える自己の振り返り		1	H24.11.3	150	95	95	83	0	0	0	0	78	1	4	0	0
		35	65	手術看護－手術体位の基本を学ぶ－		1	H24.8.11	120	143	143	136	0	0	0	0	120	3	12	1	0
		36	66	私の歴史を未来へつなぐ－ポートフォリオ・私の履歴書－		1	H24.7.24	170	96	93	91	0	0	2	0	86	0	3	0	0
		37	67	精神保健医療福祉の最前線		2	H25.1/21・22	50	21	21	19	1	0	0	0	17	0	1	0	0
		38	68	一般外来におけるうつつの早期発見と対応のポイント		2	H24.6/9・30	40	39	39	33	1	0	0	0	26	0	6	0	0
		39	69	うつ傾向にある患者への関わり方		2	H24.12/18・19	120	137	137	131	1	1	4	0	109	4	9	2	1
		40	70	こどもの虐待防止－SOSを見逃さない－		1	H24.11.12	50	78	78	76	5	1	2	0	66	0	2	0	0
		41	71	障害児支援等訪問看護研修		3	H24.5/25・6/22・7/25	30	58	58	56	1	1	0	0	52	2	0	0	0
		42	72	産科救急・CTQ判読（№7-C新人助産師と合同研修）		1	H24.7.5	50	38	38	34	0	0	20	0	12	0	2	0	0
		43	73	助産師のリスクマネジメント（№7-B新人助産師と合同研修）		1	H24.6.19	50	37	37	37	0	0	35	2	0	0	0	0	0
		44	74	地域における低出生体重児支援		1	開催中止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		45	74	助産外来講座		3	H24.10/30・12/5 (臨地研修1日)	20	14	14	13	12	0	1	0	0	0	0	0	0
		46	75	穏やかな看護取りへのケア	A	1	H25.2.18	160	158	158	144	3	0	0	0	135	1	5	0	0
				穏やかな看護取りへのケア	B	1	H25.2.19	160	141	141	132	0	0	1	0	118	2	11	0	0
		47	77	【衛星/看護協会会場】 生活をつなぐ退院支援(基礎編)	A	2	H24.12/14・15	210	170	170	162	0	0	1	0	154	4	3	0	0
				【衛星/国保加中央病院会場】 生活をつなぐ退院支援(基礎編)	B	2	H24.12/14・15	40	25	25	23	0	0	0	0	23	0	0	0	0
		48	78	退院支援研修－地域と施設の相互交流－		4	H24.7/21・26・9/8 (実習1日)	40	69	50	46	0	0	0	0	45	1	0	0	0
		49	79	【衛星/看護協会会場】 高齢者の理解と認知症患者への対応	A	2	H24.8/9・10	150	101	101	99	1	0	0	0	87	5	3	2	1
				【衛星/亀田総合病院会場】 高齢者の理解と認知症患者への対応	B	2	H24.8/9・10	80	62	62	61	0	0	0	1	57	1	2	0	0
				【衛星/国保加中央病院会場】 高齢者の理解と認知症患者への対応	C	2	H24.8/9・10	40	19	19	19	0	0	0	0	15	2	2	0	0
		50	80	高齢者の虐待予防－支援につなげる看護－		1	H25.1.24	150	44	44	40	1	1	0	0	33	0	5	0	0
		51	81	在宅緩和ケア－施設から在宅へ－		4	H24.7/3・4・8/8 (実習1日)	30	40	40	35	0	0	0	0	34	0	1	0	0
52	82	明日から実践できる健康相談の方法		1	H24.6.13	50	44	44	40	3	0	1	0	33	0	3	0	0		
53	83	禁煙支援者研修		1	H25.2.14	40	55	55	52	1	0	3	0	44	2	2	0	0		
54	84	老人保健施設における看護の役割と実際		1	H24.9.1	30	30	30	30	1	0	0	0	14	5	5	5	0		
55	85	准看護師研修－感染予防・医療安全－		1	H24.5.15	60	60	60	59	0	0	0	0	0	55	4	0	0		
56	86	准看護師研修－スキニング(褥瘡予防)・専門職としての姿勢－		1	H25.2.26	50	39	39	37	0	0	0	0	0	37	0	0	0		
57	87	トピックス		1	開催中止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
58	88	【インターネット配信研修】 看護実践に役立つ放射線の基礎知識		1	2012/7/11 (オンデマンド配信)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
59	87	【インターネット配信研修】働き続けられる職場づくり		1	H24.12.13	120	76	76	74	0	0	1	0	69	2	1	1	0		
60	88	看護職と療養者のためのカラーコーディネート	A	1	H25.2.27	130	51	51	45	2	0	0	0	37	1	5	0	0		
		看護職と療養者のためのカラーコーディネート	B	1	H25.2.28	130	37	37	36	2	0	2	0	30	2	0	0	0		
合 計								9,360	8,552	8,393	8,013	94	9	199	44	6,449	855	290	70	3

●追加設定研修： №4 AHA心肺蘇生法一次救命処置 E・F…参加者はA～D日程の応募者
 №5 フレッシュセミナー(春・秋) G

	研 修 会 名	日数	研修開催日	定員	応募者	決定者	参加者	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他
								会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	
その他	90 第31回千葉県看護研究学会	1	H25.2.22 (学生含む)	500	468	468	452	4	1	1	0	384	12	9	0	41

	研 修 会 名	日数	研修開催日	定員	応募者	決定者	参加者	保健師		助産師		看護師		准看護師		その他
								会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	会員	非会員	
その他	91 精神・身体疾患併発患者診療機能支援事業	7	H25.1/23～3/13 (実習5日)	72	24	24	24	1	0	0	0	22	1	0	0	0

	研 修 会 名	日数	研修開催日	定員	応募者	決定者	受講者	辞退者

※実地研修進行中

<会場運営のみ 主催:ヴェクゾンインターナショナル(S-QUE研究会)>

	研 修 会 名	日数	研修開催日	定員	応募者	決定者	参加者	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	94	1	H24.6.3				164					
	95	1	H24.12.9				204					
合 計							533					

2 千葉県看護研究学会

第31回千葉県看護研究学会

(1) 目 的 臨床における看護活動の取り組みを研究として発表し、成果や課題を各施設間で共有することで看護の質的向上を図る

(2) テーマ 考えよう より良い看護実践！

(3) 日 時 平成25年2月22日（金）9：30～15：30

(4) 場 所 アパホテル&リゾート(東京ベイ幕張ホール)

〒279-0031 千葉県千葉市美浜区ひび野2-3 TEL 043(296)1112

(5) プログラム

①開会式 10:00～10:20

②特別講演 「現場の看護実践を生かす看護研究10:30～12:00

講師 日本赤十字社看護大学名誉教授 川嶋みどり

③研究発表 13:00～15:15

①口演 49題

②示説 8題 合計57題

④看護研究セミナー 看護研究支援

(6) 参加者数 総数 507名

(7) 表彰演題（表彰は6月の通常総会で行う）

① 最優秀演題 外科的手術を受けて長期入院している乳児の成長発達への関わり

千葉県こども病院 松浦 衣莉

② 優秀演題 内服薬アクシデント減少への取り組み

船橋総合病院 田中 つぐみ

退院指導に関する家族のニーズの実態調査

袖ヶ浦さつき台病院 花澤 和代

(8) まとめと今後の課題

千葉県看護研究学会の開催は31回をむかえ、特別講演を日本赤十字看護大学名誉教授川嶋みどり氏を迎えて開催した。

①演題数と参加者

今年度の演題数は57題であり60題の目標にはほぼ達した。参加者数は507名であった。今後、演題・参加者数が増え、より充実した学会にするために、学会の開催に関するPRの強化に併せ、演題投稿につながる研修会の開催が必要と考える。

②口演発表

1群あたり、1題の発表時間8分、全体の質疑応答6分とした。1題あたりの発表時間は妥当であった。質疑応答については発表群により違いがみられた。また、質疑応答が効果的な議論に繋がるよう、発表者に事前に座長から質問して欲しい事項を受け付けた。発表者全員からの提出はなかったが、「質問が少なかった時に発表内容を深めることに役立った」という声もあり、今後も継続していきたい。

③示説発表

今年度は、会場の一室を活用することでより多くの人に参加できるよう示説会場を設定した。収容人員のスペースが広く、掲示を見やすい状況であった。発表会場のスペースは示説の場合に今後も配慮していく必要がある。

④看護研究相談コーナー

昨年度に引き続き「看護研究相談コーナー」を開設し、3人の講師が対応した。

「看護研究相談コーナー」には、6組10名の相談があった。質問の内容としては「文献検索がうまくできない」「研究を遂行できるか不安」があり、文献検索方法についての助言、情報提供かが行われた。看護学生からは「研究する上で事例検討だけでよいのか」との質問があり、学生と社会人ではみえてくるものに変化がある、日ごろの疑問や課題をつなげられるように助言が行われた。

他には新人看護職員へ看護の喜びを伝えるにはどうしたらよいか、また、在院日数の減少による術前呼吸訓練の方法、看護部の倫理審査委員会の委員構成に関する質問があった。

病院等の施設には必ずしも研究のエキスパートがいるわけではないため、こうした相談コーナーは毎年設けて欲しいという声も聞かれた。「難しい」、「大変」と思われがちな看護研究に対する思いが変容し、演題申込み者が増えることを期待したい。

以上の結果をふまえ、今後も看護研究に関する基礎編、実践編、個別支援、相談コーナーを関連させさらに研究に対する取り組みを支援する機会を提供し、看護研究を通して臨床の看護の質向上に寄与したい。

Ⅲ 訪問看護の推進に関する事業

1 訪問看護推進事業

(1) 訪問看護推進協議会の開催

	日時	場所	協議内容
第1回	9月28日（金） 18：30～20：00	千葉県看護会館 1階会議室	訪問看護実践センター事業について 訪問看護ステーションの現状調査結果について 人材育成について 小規模訪問看護ステーションの支援について
第2回	3月28日（木） 18：30～20：00	千葉県看護会館 2階中研修室	平成24年度事業報告について 平成25年度事業計画について

(2) 訪問看護に関する総合相談

相談日：月～金 9：00～17：00

相談件数：53件（23年度実績44件）

相談内容：看護師、介護支援専門員等専門職（ステーション開設に関すること、看護の範囲等）
県民（訪問看護サービスの内容等）

相談内容等	件数
介護に関する内容	8
訪問看護サービス	19
処置に関する内容	3
管理業務・不安	7
運営管理	9
その他	7
計	53

相談者内訳	件数
県民	10
看護職	35
その他専門職	8
計	53

(3) 訪問看護の普及啓発

①地域連携フォーラム

	内 容
目 的	県内の訪問看護ステーションを取り巻く状況は、高齢化の進行や在院日数の短縮化に伴い、医療依存度の高い在宅療養者が増加することが予想される。こうした状況の中安心して在宅で最期まで過ごせる地域づくりを推進するためには、在宅医療に関わる訪問看護師と多職種との連携が重要と考える。そこで、今回は摂食・嚥下に焦点を当て、在宅療養に関わる専門職による連携の在り方について考える機会とする。
開催日	9月22日（土） 13：30～17：15
会 場	千葉県看護会館 2階大研修室
	<p>【テーマ】「その人らしい在宅療養を支援するために～経口摂取移行にむけた多職種連携～」</p> <p>【講演】「経口移行に役立つ摂食・嚥下リハビリテーションテクニック」 講師 藤田保健衛生大学病院 看護主任 摂食・嚥下障害看護認定看護師 三鬼達人氏</p> <p>【シンポジウム】 テーマ 「経口摂取移行にむけた多職種連携」 座 長 千葉県看護協会 常任理事 星野恵美子 シンポジスト ・社会保険船橋中央病院 管理栄養士 白田有希氏 ・順天堂大学医学部附属浦安病院 主任 山下実佐子氏 ・千葉県歯科医師会 理事 栗原正彦氏 ・緑が丘訪問看護ステーション 所長 山崎潤子氏</p>
参加人員	189名：看護職107名（56.6%）、他職種82名（43.4%）
参加者	医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、介護支援専門員、社会福祉士、介護福祉士等

②リーフレットの改訂・配布

目的	訪問看護を必要とする在宅療養者に、訪問看護サービスを適切に導入し、より安定した療養生活を送れるよう、ケアマネジャー等専門職に訪問看護サービスの利用方法、内容等について理解してもらい、訪問看護の普及啓発を図る。
対象	県民： 「マイナースとつくる安全で安心な在宅での生活」 専門職： 「訪問看護利用の手引き」
記載内容	訪問看護サービスの制度 訪問看護の利用方法 訪問看護の料金（24年度診療報酬改定によるもの） 訪問看護の活用事例 訪問看護に関する相談先
配布先	病院（地域連携室・退院支援室・病棟）、診療所、居宅介護支援事業所、市町村等

【まとめ】

高齢化の進展や在院日数の短縮に伴い、在宅療養上の問題や悩みを抱える人は多いと思われる。

より一層の訪問看護に関する総合相談窓口のPR強化に努めていく。

地域連携フォーラムについては、テーマに関連した講演内容に参加した他職種の方に好評であり、再度講演を聞きたいという声が多く聞かれた。

次年度は、対象地域を絞り、当該地域での地域連携のあり方を考え、実践に結び付けるような企画運営を再考したい。

2 訪問看護サポートセンターちば

【目的】

小規模訪問看護ステーションの請求事務等業務の省力化や効率化を推進し、既存の訪問看護ステーションが休廃止せず、かつ新規事業所が増え、千葉県の実訪問看護サービスが充実することを目的とする。

【実施内容】

訪問看護ステーション3事業所の請求事務等に関する代行事務を実施。

【まとめ】

現システムは、初期導入費用の負担感が大きいと、小規模訪問看護ステーションへの支援策として事業拡大することは厳しい状況にあり、訪問看護実践センター事業の小規模訪問看護ステーションの支援事業へと移行する予定である。そのため、現在参加している3事業所については、小規模訪問看護ステーションの支援事業で開発する新システムへの円滑な移行ができるよう体制を整えていく必要がある。

3 訪問看護実践センター事業

【目的】

高齢化の進展や在院日数の短縮等に伴い、医療ニーズの高い在宅療養者の増加が見込まれるなか、質の高い在宅医療の推進が重要な課題である。在宅医療の中核を担う訪問看護を安定的にかつ質の高い供給を行うために、訪問看護師等の人材の育成を図るとともに、小規模訪問看護ステーションの業務の効率化等に向けた支援を行うことを目的とする。

(1) 推進検討委員会の設置・開催

①訪問看護実践センター事業企画評価委員会（委員13名）

2回開催：9月28日・3月28日（訪問看護推進協議会と併設開催）

②人材育成専門部会（委員11名）

5回開催：6月29日・7月24日・9月6日・1月15日・3月1日

③小規模訪問看護ステーションの支援専門部会（委員9名）

6回開催：7月6日・7月31日・8月28日・10月11日・12月27日・2月26日

(2) 人材の育成

【目的】

質の高い訪問看護サービスを提供できる人材の育成を図る。

【実施内容】

①訪問看護師の養成

ア 訪問看護師育成プログラムの構築

目標：2年間で一人前の訪問看護師になる

イ 支援体制

関係施設名	新卒訪問看護師支援内容
(就業先訪問看護ステーション) 看護協会 ちば訪問看護ステーション	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の一員として姿勢・態度の育成 ・勤務と学習を両立できる体制作り ・プリセプターシップを導入し看護実践に根ざした育成
千葉県看護協会 訪問看護実践センター	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護師への知識・技術強化支援 ・プリセプターへの支援・相談 ・所長への支援・相談 ・人材育成会議の企画・運営 ・就業に係る相談
千葉大学大学院 看護学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・育成プログラムの協働開発 ・必要に応じて研修や会議等をとおして直接的な助言・指導

ウ 支援に係る会議開催

会議名	目的	構成員	回数
学習支援者 会議	学習者の課題が達成できるように支援体制の調整を行う	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援者 ステーション管理者 プリセプター 事業担当者 千葉大学教員 	18
振り返り カンファレンス	学習者が学習過程を振り返り、課題を明確にすることができるように支援する	学習者・学習支援者	18
人材育成 全体会議	学習者・学習支援者が円滑に目的を遂行できるように、プログラム全体の調整を行う	学習支援者・看護協会	6

エ 新卒および潜在看護師を対象とした研修

<新規卒業者>

研修	研修日	研修会名、内容	研修機関	
基礎看護技術研修	5月10日	吸引(口腔・鼻腔・気管)	訪問看護 実践センター	
	5月17日	吸引(口腔・鼻腔・気管)		
	5月22日	経管栄養		
	5月31日	介護保険制度について		
	6月6日	摘便		
	6月8日	移動		
	6月13日	フィジカルアセスメント		
	6月21日	事例検討会		
	7月20日	注射器の取扱い		
	9月28日	採血・筋肉注射		
訪問看護 実践 研修	保健医療福祉を めぐる社会動向	4月11日	講演会:在宅ケアのルネッサンス	日本訪問看護財団
		6月24日	訪問看護基礎講座	
	フィジカルアセスメント	6月13日	フィジカルアセスメント(基礎編)	千葉県看護協会
	呼吸管理	10月13日	神経難病の包括的呼吸ケア・ワークショップ	PHILIPS
		11月13日	在宅人工呼吸に関する講習会	医療機器センター
	急変時の看護	5月19日	心肺蘇生法トレーニング BLSコース	千葉県看護協会
	在宅ターミナルケア	11月17日	看護倫理(終末期における倫理)	
		2月18日	穏やかな看取りへのケア	
	スキンケア	12月1日	褥瘡のケアと予防	
		12月6日	糖尿病患者のセルフケア支援	
	退院支援	7月21日	退院支援研修(千葉県看護協会)	
	リスクマネジメント	9月13日	医療安全基礎(千葉県看護協会)	
	実技研修	10~12月	訪問看護ステーション研修 研修期間:各1ヶ月、週3日間	市川市医師会訪問看護ステーション まちのナースステーション八千代 さつき台訪問看護ステーション
訪問看護師養成講習会 (eラーニング)	7~2月	訪問看護研修ステップ1	千葉県看護協会	
新人看護職員研修	4月26日	情報管理・感染管理		
	4月27日	フィジカルアセスメント		
	5月23日	摂食嚥下障害を持つ患者の看護		
	5月24日	心電図・薬剤の知識		
	6月1日	フレッシュセミナー		
	8月6、8、9、 13、14、15日	千葉市立青葉病院 実技研修		
	6月12日	スキンケア		
	8月7日	医療安全について		
	10月18日	フレッシュセミナー		
	11月2日	物品・コスト管理		

<臨床経験を有する看護師>

研修	開催日	研修会名	研修機関
保健医療福祉をめぐる社会動向	4月11日	講演会:在宅ケアのルネッサンス	日本訪問看護財団
	6月24日	訪問看護基礎講座	
	11月17日	訪問看護サミット集中セミナー	
急変時の看護	5月19日	心肺蘇生法トレーニング BLSコース	千葉県看護協会
精神症状のある在宅療養者の看護	6月9、30日	一般外来におけるうつ早期発見と対応のポイント	PHILIPS
呼吸管理	10月13日	神経難病の包括的呼吸ケア・ワークショップ	
	11月13日	在宅人工呼吸に関する講習会	
訪問看護師養成講習会 (eラーニング)	7~2月	訪問看護研修ステップ1	千葉県看護協会

【まとめ】

①新卒訪問看護師育成プログラムは訪問看護の現場での育成の実践を評価しながら、1年間のプログラムを構築できた。プログラムの中でも、現場の意見を聞きながら作成した自己評価票の存在が大きい。この自己評価票は新卒看護師に限らず、全ての訪問看護師が評価項目に沿って、自己の学習課題を明確にできるツールである。

25年度は、構築した1年目のプログラムに沿った実施、評価と、2年目のプログラムを検討し2年間のプログラムを構築する。

②県内の訪問看護師等を対象とした研修の開催

研修会の開催にあたり訪問看護師の研修体系を作成し下記のとおり実施した。

ア 訪問看護師養成研修 (訪問看護eラーニング・集合研修4回・実習2日間)

開催時期		内 容	
7月2日～11月30日		訪問看護 e ラーニング	・インターネットを利用し、パソコンの画面を見て、訪問看護の基礎的知識を学ぶ
集合研修	7月21日 または 7月28日	退院支援研修 ー地域と施設の相互交流ー	・24年度診療報酬・介護報酬の改正内容 ・退院調整を行う病院の立場から 病院看護師はどのような視点で退院調整をしているか
	11月17日	在宅における倫理調整 (公開研修)	・訪問看護ステーションの立場から 訪問看護の概要と在宅利用者の特徴 患者を受け入れるうえで、どんな情報があればよいか ・ケアプランを作成するケアマネジャーの立場から
	12月1日	褥瘡のケアと予防 (公開研修)	・講義 : 基本的なスキンケア 高齢者の皮膚の特徴・皮膚の浸軟 褥瘡ケア方法について ・演習 : ポジショニング
	2月18日 または 2月19日	穏やかな看取りへのケア	・看護師がとらえる死生観 ・看取りのケア ・エンゼルメイク・エンゼルケア ・感染予防対策上の死後の処置
1月15日 ～2月15日	実 習	・実習2日間 ・同行訪問 ・訪問看護実践をとおして、在宅療養者及び家族への援助方法を習得し、地域における訪問看護師の役割を理解する	

※訪問看護養成研修 受講生34名 (eラーニング修了者:32名 全課程修了者: 30名)

※公開研修参加人数 在宅における倫理調整: 9名 褥瘡のケアと予防 : 22名

イ 訪問看護師スキルアップ研修 (1日)

開催時期		内 容	
1月12日	肺理学療法 排痰法の理論と実際 (実技編)	・講義 : 呼吸ハビリテーション、排痰ケアを中心に ・演習 : ブタ肺から学ぶリアルな呼吸療法 スクイージングの実際 ・参加人数73名	

ウ 訪問看護実習指導者研修 (1日)

開催時期	内 容	
2月2日	新任・新卒訪問看護師 育成研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：千葉県新卒訪問看護師育成事業の考え方 今の若者像を理解する 学習支援者の役割とは 学習支援ツール（自己評価票）の考え方と構成 ・グループワーク： 新任者を受け入れに当たって不安なこと 学習支援やステーション内における教育環境について考えた事 自分自身が指導者として必要なことは何か ・参加人数31名

エ 退院調整研修 (講義 3日 臨地研修1日)

開催時期	内 容	
7月21日	退院支援研修 －地域と施設の相互交流－	<ul style="list-style-type: none"> ・24年度診療報酬・介護報酬の改正内容 ・退院調整を行う病院の立場から 病院看護師はどのような視点で退院調整をしているか ・参加人数65名
7月28日		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションの立場から 訪問看護の概要と在宅利用者の特徴 患者を受け入れるうえで、どんな情報があればよいか ・ケアプランを作成するケアマネジャーの立場から ・参加人数59名
7月30日～ 9月7日		臨地研修 訪問看護ステーションで1日研修
9月8日		<ul style="list-style-type: none"> ・実際に訪問診療を行う医師の立場から 訪問診療医から訪問診療の実際と必要な情報とは ・模擬患者を想定して、退院調整会議を開催してサービス調整を行う ・参加人数44名

【まとめ】

本事業を通して訪問看護の研修体系が策定できた事は、今後の訪問看護の質の向上、訪問看護師のキャリアアップの上から指針となる。

訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の34名の受講生は、訪問看護に従事している方と訪問看護の知識習得を目指す方（病院勤務者）がほぼ半数であった。受講生の背景は様々ではあるが、集合研修は「eラーニングにおける自己学習の補講（基礎看護の確認）」として、25年度も企画していく。

訪問看護師スキルアップ研修会は、肺理学療法「排痰法の理論と実際」を行った。肺理学療法に関しては研修会も少なく、訪問看護師は自己学習して実践しており、学べる機会が欲しかったとの意見が多く、ニーズに合った研修会が開催できた。25年度も訪問看護師の現状を把握し質の高いケアが提供できることを目指して、研修会を企画していく。

(3) 小規模訪問看護ステーションの支援

県内の訪問看護ステーションの看護師等が専門性を発揮し、働き続けられる環境づくりを行う。

① IT化の促進

【目的】

小規模訪問看護ステーションの周辺事務の効率化や集約化を推進することを目的とする。

【実施内容】

訪問看護に関する周辺事務の効率化と集約化を図るために、県内の訪問看護ステーションの実態調査を実施。214ステーションのうち186ステーション(回収率86.9%)から回答を得た。その結果、訪問看護師の約8割が周辺事務に関わっており、約7割が看護記録は紙媒体であり、帰所後に端末に入力するという二度手間をかけており、そのため残業を余儀なくされている実態が明らかになった。

そこで、訪問看護記録をIT化することにより、記録の二度手間や残業の軽減につなげること、さらに看護業務の分析を可能にし、簡単な経営分析までできるようシステム化を進めた。

また、協会として多くのステーションにこのシステムを使用してもらうために、県内のレセソフト会社にも広く声かけをし、参画してもらうことに努めた。

事業実施にあたり、外部委員、ステーション所長で構成する専門委員会の意見を聴取しながら進めてきた。年度末に方法の転換をせざるを得なかったが、現在は決定された業者と平成25年度末までのシステム完成に向け進行中である。

ア 協会オリジナル訪問看護記録の開発

小規模訪問看護ステーションの支援専門部会の作業グループとして「訪問看護記録に関わる作業部会」を設置し、協会オリジナル訪問看護記録を作成。

- ・部会構成員 4名
- ・開催回数 5回
- ・協議内容 訪問看護ステーションの統計分析・看護の質について

イ システム開発に向けた業者説明会の実施

県内の複数訪問看護ステーションで使用されているレセプト請求ソフト会社15社に通知し、10社が参加、事業構想の説明を実施した。

ウ 千葉県版訪問看護支援システムα版の開発

エ 企画提案型入札方式の実施

オ 千葉県版訪問看護ソフトの要件定義書、システム設計書の完成

② 経営診断支援

【目的】

小規模訪問看護ステーションの安定的な経営を図るため、訪問看護ステーションの経営診断・経営分析を行うための基盤整備を行う。

【実施内容】

訪問看護ステーションの各事業所がより効率的な経営を実現するために、千葉県内訪問看護ステーションの経営実態調査を実施し、調査結果を基に、経営に影響を及ぼす主たる要因を抽出し、訪問看護実践センターIT化の促進で開発する「千葉県版訪問看護ソフト」の経営診断項目へ活用する。

事業実施にあたり、業者と委託契約を締結し、今年度は「経営実態調査票案」を作成した。

③ コールセンター設置検討

【目的】

24時間体制の負担を軽減するためにコールセンターシステムの構築を検討する。

【実施内容】

コールセンター設置に関する他県の類似事例を文献検索、情報収集し、夜間早朝の計画的訪問看護を行っている滋賀県済生会訪問看護ステーションを視察した。今年度は情報収集のみに終わり、コールセンター構築の検討までは至らなかった。次年度検討する。

④サテライトの設置支援

【目的】

訪問看護の普及と訪問看護ステーションを増やすためにサテライトを設置し、設置過程をマニュアル化する。

【実施内容】

- ア 柏市現状調査の実施（中学校区別における訪問看護に関連する地域状況）
- イ 柏地区へのサテライト設置協力要請訪問
訪問先：柏市保健所、柏市、柏市医師会等
- ウ 千葉県介護保険課へのサテライト設置に関する相談、変更届提出
- エ サテライト柏開設のための備品等整備

（4）訪問看護に関する調査研究、普及啓発

①訪問看護ステーションの現状調査の実施

【調査目的】

訪問看護実践センター事業の推進にあたり、県内の訪問看護ステーションの現状を把握し、訪問看護ステーションの人材育成や小規模訪問看護ステーションへの支援を検討する基礎資料とする。

【実施時期】 平成24年6月～7月（2週間）

【調査対象】 県内の事業所214事業所（平成24年6月1日現在）

【調査方法】 アンケート調査を事業所の所長宛に送付、返信用封筒を同封し回収

【調査結果】 回収186事業所（回収率86.9%）

ア 常勤換算看護職員数

- ・常勤の看護職員数は1事業所の平均が4.2名であり、常勤看護職員数 3.5未満40.9%（76事業所）、3.5～5.0未満31.2%（58事業所）、5.0～10未満26.3%（49事業所）、10以上1.6%（3事業所）である。
- ・常勤看護職員5.0未満の事業所は72%（134事業所）を占める。

イ 現状の看護職員数について

- ・増やしたいと考えているのが69.9%（130事業所）、現状維持でよいが28.5%（53事業所）である。

ウ 増員を希望している事業所が採用したいと考えている看護職員(複数回答)

- ・ほぼ100%の事業所で訪問看護や臨床経験を有する看護職を求めている。新卒訪問看護師を求めている事業所が22.3%（29事業所）である。

エ 看護職が関わっている事務作業の内容(複数回答)

- ・各種契約の説明79.6%（148事業所）で最も多く、訪問スケジュール作成74.2%（138事業所）、訪問看護指示管理65.1%（121事業所）、マニュアル書類整理58.6%（109事業所）、利用者基本情報入力52.7%（98事業所）であり、本来の訪問看護業務ができにくい現状である。

オ 訪問看護記録方法

- ・67.7%（126事業所）が紙媒体を使用しており、訪問看護記録ソフトを活用しているのは24.7%（46事業所）のみである。

②訪問看護師の育成フォーラム

目的	在宅医療の中核を担う、質の高い訪問看護を安定的に供給するために実施している、訪問看護実践センター事業における人材育成事業の普及を図ると共に、訪問看護ステーションで働きたいと希望している看護学生等の確保をするため、県内訪問看護ステーションとの交流を深める。
開催日	平成25年3月22日（土） 13：00～17：00
会場	千葉県看護会館 2階大研修室
	<p>【テーマ】 「新卒訪問看護師が訪問看護師として頑張っています」</p> <p>【講演】 「訪問看護師を育てる～訪問看護実践センター事業を通して～」 講師 千葉県看護協会 専務理事 山木まさ</p> <p>【シンポジウム】 テーマ 「新卒訪問看護師が訪問看護師として頑張っています」～24年度の事業を通して～ 座長 千葉大学大学院看護学研究科 特任教授 長江 弘子氏 シンポジスト 看護協会ちば訪問看護ステーション 新卒看護師 田中 智美 看護協会ちば訪問看護ステーション 所長 権平くみ子 看護協会ちば訪問看護ステーション 指導者 豊田 智生 千葉県看護協会 事業担当者 保坂 和子</p> <p>【ポスター展示】 参加訪問看護ステーション4箇所 ・まちななナースステーション八千代 ・さつき台訪問看護ステーション ・リコーケアステーション ・看護協会ちば訪問看護ステーション</p>
参加者	47名（看護学生等5名、看護大学教員等6名、訪問看護師20名、他の専門職4名、その他12名）

【まとめ】

平成25年度の新卒訪問看護師の確保にあたり、募集リーフレットを作成して学校訪問を9月から10月に行ったが、その時期には、ほとんどの学生の就職が決まっていた。平成26年度の訪問看護師募集に向けて3月に合同就職説明会への参加や訪問看護師の育成フォーラムを開催した結果、訪問看護師の育成フォーラムには少数ではあるが参加者があった。

訪問看護師の育成フォーラムは、看護学生や教員の参加が少なく、訪問看護師になるためには病院に就職してからという考えが強く看護学校教員、訪問看護ステーションの意識改革が課題である。

IV 県民への健康・福祉の増進に関する事業

1 「看護の日」、「看護週間事業」

第22回県民が集う「看護の日」

1. 目的

県民が集う「看護の日」として、県民一人ひとりが看護についての関心と理解を深めると共に、県民とともにあゆむ信頼される看護のイメージづくりを図り、健康で安心して暮らせる社会づくりの実現に寄与する。

2. テーマ 「いのちを支える看護の魅力」

3. 開催日及び会場

(1)日 時 平成24年5月12日(土) 12:30~16:00

(2)会 場 千葉市生涯学習センター 他県内12ヶ所

4. 内容及び参加人数

(1)中央行事

○白衣ファッションショー

○開会式 主催者挨拶

千葉県看護功労者知事表彰式（表彰者20名）

看護体験記 入賞作品表彰

<看護師への道>

優秀賞 成田赤十字看護専門学校 長岡 聖恵

佳 作 千葉県がんセンター 高久 陽子

佳 作 総合病院国保旭中央病院 多田 真央

<看護師として>

優秀賞 千葉県済生会習志野病院 笠原 有希

佳 作 国立国際医療研究センター国府台病院 山集 美蘭

<看護を受けた方からのメッセージ>

優秀賞 四街道市 小松 信雄

佳 作 佐倉市 牛越 久子

<看護を体験して>

優秀賞 千葉県立東金高等学校 瀬尾 藍海

佳 作 千葉県立東金高等学校 小倉 啓輔

○看護体験記 発表

○特別講演「いのちの大切さ、看護の大切さ」

講師 独立行政法人放射線医学総合研究所重粒子医科学センター

Ai情報研究推進室 室長 海堂 尊

参加者：435名(内訳 一般314名、表彰者・来賓等関係者121名)

(一般314名のうち、中高校生40名)

・ふれあい看護体験申込 7名

・看護進路相談(事業第二課) 9名

・保健師職能委員

AED・血圧測定・心臓の音を聞く体験、

中高生のための健康相談、進路相談、保健師訪問靴の中身 192名

・国際助産師の日

マタニティ・人形を使った沐浴体験・マタニティウエア 育児便利グッズ展示、進路相談	183名
・現代白衣の試着	38名

延人数：864名

(2)地区部会行事

○ふれあい看護体験ほか「まちの保健室」

参加者：5,704名(延人数)

5. まとめ

- ・高校生等一般参加者に「看護の心」を伝え、感じ、体験してもらう目的は、一般参加者（看護学生を除く）の割合が47%と低く課題は残ったものの、経年的には22年度38%、23年度23%と比較すると徐々に効果は上がっていると評価できる。
- ・ふれあい看護体験参加者からは「より一層看護師になりたいという気持ちが高まった。」、AED体験の高校生からは「体験できてよかった。機会があれば活かしたい。」等の感想が寄せられ、主な対象とした中高校生の参加者への効果があったと思われる。
- ・募集した高校生モデルの白衣ファッションショーでは、看護の印象をモデルの高校生や参加者に強く伝えることができ、日本看護協会の「Nursing Day&Week2012」に写真が掲載された。

平成24年度 ふれあい看護体験「看護の日(5/12)」に実施した病院

地 区	病 院 名	参加者数
千葉 (2)	千葉市立青葉病院	8
	千葉市立海浜病院	4
市原 (1)	千葉県循環器病センター	4
船橋 (5)	鎌ヶ谷総合病院	1
	津田沼中央総合病院	5
	初富保健病院	2
	船橋二和病院	35
	谷津保健病院	4
市川 (2)	化学療法研究所附属病院	2
	行徳総合病院	2
松戸 (2)	国保松戸市立病院	4
	新東京病院	2
東葛 (2)	柏市立柏病院	3
	東京慈恵会医科大学附属柏病院	4
印旛 (2)	聖隷佐倉市民病院	8
	東邦大学医療センター佐倉病院	10
利根 (1)	県立佐原病院	4
山武 (2)	県立東金病院	2
	さんむ医療センター	4
長夷 (1)	大多喜病院	1
君津 (1)	玄々堂君津病院	2
安房 (1)	赤門なのはな館	1
計	22施設	112

112名の内、社会人11名

2 「まちの保健室」事業

常設型「まちの保健室」実施状況（千葉三越）

1. 目的

県民に対し看護を身近に感じていただける場の提供を図り、看護への関心と理解を高めてもらうと同時に、自己の健康への意識が高まるよう働きかける。

2. 事業内容

- (1) 開催日 : 毎月第3土曜日 14:00~16:00
 (2) 場 所 : 千葉三越8階 特別室
 (3) 内 容 : ①ミニ講話
 ②相談

3. 実施状況

月日	テーマ	講師	講話	相談
4/21	凜とした私でいるために！ ～転倒・骨折を防ぐ～	神山 邦子	9	7
5/26	子供の救急時のホームケア	雨宮恵美子	6	2
6/16	熱中症を防ぐために	神山 邦子	8	3
7/21	楽しい太極拳～バランス感覚を育てながらリラックス～	門脇 三恵	21	4
8/18	介護保険制度について	宮原 サワ	9	3
9/15	"より良く生きる"とは	星野恵美子	13	6
10/20	年齢にあわせた健康生活	藤澤 里子	16	7
11/17	腰痛・膝痛・肩こりについて	神山 邦子	11	3
12/15	受診のしかた	杉本 龍子	5	5
1/19	介護保険制度について	宮原 サワ	13	4
2/16	ミニころばん体操	首藤 鏡子	13	0
	合 計		124	44

4. その他看護協会主催（イベント型）実施状況

月日	内容	相談員数	延人数
9/2	千葉三越「美と健康フェア」	4	52
12/1	千葉市蘇我勤労市民プラザ「健康まつり」	3	66

5. まとめ

- ・協会主催の千葉三越「まちの保健室」におけるミニ講話は、過去2年間、三越相談員と看護協会役員が講師を担当しており、参加者が一部リピート化していること、今後の新展開が厳しいことを踏まえ、平成25年度から医師や認定看護師に講師を依頼しての実施とする。
- ・千葉三越「美と健康フェア」は、たばこの健康教育と併せて実施したことにより老若男女を問わず多数の参加者が得られた。
- ・千葉市蘇我勤労市民プラザ「健康まつり」は、年度途中で新規の依頼を受けて参加したイベントではあったが、肥満や血圧相談等県民の健康相談への対応の機会となった。

平成24年度 常設型「まちの保健室」実施状況(地区部会)

平成24年4月1日～平成25年3月31日

地区	血圧測定		体脂肪測定		身体測定		禁煙相談		更年期相談		思春期子育て支援		その他		件数(延人数)		年齢構成							協力員		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	不明	計(実数)							
千葉	58	40	22	17	0	0	0	0	0	0	0	0	62	29	142	86	19	43	22	16	35	11	0	23	169	23
市原	68	42	40	31	0	0	2	0	0	0	0	0	51	36	159	111	3	17	9	30	38	21	7	0	125	11
船橋	252	80	237	69	0	0	0	0	0	0	0	0	14	8	503	157	4	15	11	47	121	115	17	7	337	27
市川	149	151	123	120	0	0	1	9	0	5	0	5	5	6	291	278	14	31	23	43	114	74	9	7	315	28
松戸	8	5	4	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	13	10	0	0	4	2	3	4	0	0	13	14
東葛	294	235	301	242	0	0	0	0	0	0	0	0	9	10	604	487	1	28	58	155	437	357	36	10	1,082	32
印旛	416	170	389	208	0	0	1	0	0	0	0	0	289	147	1,094	526	73	115	154	333	564	260	44	8	1,551	48
利根	147	75	127	66	2	0	0	5	0	0	0	0	81	39	357	185	6	8	14	42	90	56	12	0	228	27
山武	99	27	75	19	12	3	1	0	11	0	0	0	66	15	264	64	8	8	6	15	45	63	8	0	153	32
長夷	198	208	116	111	97	93	1	2	6	0	0	1	1	1	419	415	21	32	22	47	134	141	50	0	447	101
君津	67	11	42	2	28	2	0	0	2	0	2	0	29	7	170	22	3	4	5	8	27	37	5	1	90	16
安房	23	11	17	8	0	0	0	0	3	0	0	0	9	2	52	21	12	4	13	7	8	7	3	0	54	14
合計	1,779	1,055	1,493	897	139	98	2	11	32	1	7	0	616	300	4,068	2,362	164	305	341	745	1,616	1,146	191	56	4,564	373

平成24年度 イベント型「まちの保健室」実施状況(地区部会)

平成24年4月1日～平成25年3月31日

地区	行事名	開催日	血圧測定		体脂肪測定		身体測定 (腹囲測定)		禁煙相談		更年期相談		思春期 子育て支援		その他 (健康相談等)		件数 (延人数)		年齢構成							協力員				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代		70歳代	80歳代	90歳代	不明
千葉	市民健康 づくり大会	10月13日(土)	473	122						44								517	122	33	50	63	46	178	209	16		44	639	19
市原	健康まつり	10月21日(日)	129	39	130	39									96	19	355	97	8	14	9	30	65	42	12		21	201	9	
船橋	鎌ヶ谷市 福祉健康フェア	10月21日(日)	92	53	90	52	93	54									275	159	5	14	12	10	52	46	6		2	147	8	
	ふなばし 健康まつり	11月4日(日)	39	16	39	15						1					79	31	2	2	3	2	25	21			1	56	5	
市川	健康フェア 浦安	10月28日(日)	6	6	6										3	0	15	0									9	9	4	
松戸	松戸まつり	10月7日(日)	170								3				68	241	0	2	5	9	24	26	48	50	7	2	173	7		
印旛	成田市 健康・ 福祉まつり	10月20,21日	326	118	354	113									49	729	258	32	61	65	87	435	254	53			987	18		
山武	横芝光町 産業まつり・ 健康祭り	11月18日(日)	77	28	56	24									227	43	360	95	16	12	11	31	38	24	9	1	142	16		
君津	君津市健康と 福祉のふれあ いまつり	10月20日(土)	85	33	86	34	83	31							148	48	402	146	12	16	16	10	34	50	6	2	146	16		
安房	城西国際大学 への交流会	10月14日(土)	15	16	15	16	15	16	5	13					5	13	55	74	16	1	4	5	5				31	2		
	亀田医療大学	11月3・4日	91	25	102	30			2	3					5	10	200	68	40	20	15	16	36	68	58	15	268	4		
小計			1,503	450	878	323	191	101	51	16	3	0	1	0	601	160	3,228	1,050	166	195	207	261	894	762	210	8	96	2,799	108	
合計			1,953	1,201	292	67	3	1	761	4,278	90	177	169	218	665	577	59	8	93	2,566	108									

*千葉 禁煙相談44名性別年代不明 ⇒女性へ計上
 *市原 その他(肺年齢)性別不明32 ⇒女性へ計上
 *市川 性別不明 ⇒女性へ計上
 *松戸 性別不明 ⇒女性へ計上

3 自殺予防対策事業

1 心の総合相談窓口

(1) 目的：

本県では、毎年約1300人の自殺者が発生しており、その要因は多岐にわたるが、心の病気が自殺と深く関係していると言われている。こうした状況を受け、本協会では平成22年度から県の「地域自殺対策緊急強化基金事業」の一環として、看護の専門性を活かしてうつ等の早期発見や早期対応を目的とした「心の総合相談窓口」（専用回線）を開設し、行政や専門機関と連携した自殺防止対策を推進している。

(2) 相談日：月・水・金 13:00～16:00

(3) 相談件数・内容：

①相談件数 年間 331名（延570件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実件数	33	31	36	37	30	21	20	25	23	25	24	26	331
延べ件数	41	67	72	67	57	40	49	44	29	35	37	32	570

②相談者内訳

ア 性別

女性	男性	不明	合計
224	87	20	331

イ 所属

県民	看護職	その他 医療職	その他	不明	合計
289	26	9	5	2	331

ウ 居住地（地区部会名別）

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	不明区	県外	不明 県内外	合計
33	5	16	9	4	14	15	8	2	4	15	2	171	2	31	331

③主な相談内容

メンタルヘルス	人間関係	家庭関係	施設労働条件	能力に関する事	准看護師・進路	身体・健康問題	苦情	その他	合計
139	25	47	17	4	1	51	12	35	331

(4) 相談状況：

平成23年度末に「カード式広告」を医療機関や市町村等の窓口を設置した結果、相談件数が前年度比3倍に増加、県民からの相談も6倍に増加した。相談者の背景としては、メンタル的に治療を受けている方が4割以上みられた。

2 研修会の開催（再掲）

(1) 「一般外来におけるうつ等の早期発見と対応のポイント」

①目的：一般外来においてうつ等を早期に発見し適切な治療へつなぐために、うつ等の診断・治療、予防、自殺念慮の患者への看護について学ぶための研修会

②実施日時：平成24年6月9日（土）・30日（土） 9:45～16:30

③参加者：38名（26施設）

④実施内容：

- ア うつの基礎知識と治療
独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院 精神科医師 安井 玲子
- イ うつを巡る現状と課題
千葉県健康福祉部健康づくり支援課自殺対策室 主幹(兼)室長 小高 正博
- ウ いのちの電話相談の現場から
(社福)いのちの電話相談 理事 北原 悦子
- エ 外来におけるうつの早期発見と対応ポイント
千葉大学医学部附属病院 副看護師長 精神看護専門看護師 瀬尾 智美
- オ 看護職の心の健康管理
船橋市立医療センター 精神看護専門看護師 菅原 亜有美

(2)「うつ傾向にある患者への関わり方」

①目的：うつ傾向にある患者とのコミュニケーションが適切に行われるために、患者への関わり方に必要な知識と技術について学ぶ研修会

②実施日時：平成24年12月18日（火）・19日（水） 9:45～16:30

③参加者：135名（60施設）

④実施内容：

- ア うつをめぐる現状と課題
千葉県精神保健福祉センター 調査研究課 課長 秋山 実砂
- イ うつ病対策支援事業－支援の実際－
秋山 実砂
- ウ うつ病の現状
千葉大学医学部附属病院 精神神経科准教授 渡邊 博幸
- エ いのちの電話
(社福)いのちの電話相談 理事 北原 悦子
- オ うつ傾向にある患者への関わり
公益財団法人がん研有明病院 精神看護専門看護師 小田島久美
- カ コミュニケーションの知識と技法
昭和大学病院 精神看護専門看護師 福宮 智子

(3) まとめ

受講者からは、「うつの方と接するとき注意することを学べた」「ゲートキーパーとして観察ポイントが勉強できたので、自信を持って声をかけられる」「実践的なものが多かったので、施設（病棟）に戻り伝達した」等の意見が聞かれた。

4 たばこ対策事業

1 たばこによる健康被害の普及啓発

(1) 看護学校への普及啓発

①看護教員への禁煙指導研修会の開催

ア 目的：

看護学生に禁煙教育を実施し禁煙に対する自己高揚感がはぐくまれ、喫煙するきっかけをつくらせないことを目的とし、看護学校での禁煙教育を普及させるため、看護教員へ向けた研修会を開催する。

イ 日時：7月3日（火）

ウ 場所：ナースセンター2階

エ 内容：講義「たばこによる健康被害」

協会作成のテキスト(CD)の配布及び使用方法について。

講師：日本禁煙科学会 理事 三浦秀史講師

オ 参加者：19名(参加者15名（13校）、関係者4名)

淑徳大学看護学部看護学科、了徳寺大学健康科学部看護学科、国立病院機構千葉医療センター附属千葉看護学校、君津中央病院附属看護学校、成田赤十字看護専門学校、千葉県立野田看護専門学校、山王看護専門学校、勤医会東葛看護専門学校、社会保険船橋保健看護専門学校、千葉中央看護専門学校、千葉市青葉看護専門学校、国保小見川総合病院付属看護専門学校、市原看護専門学校

②「たばこによる健康被害」テキスト(CD)の配布

県内看護学校32校

③看護学生対象、地域住民等に対する健康教育活動

ア 目的：

今後看護を担う看護学生が、「たばこの健康被害」を再確認し、地域住民等へ禁煙教育を実施する等、役割を担うことで看護職の喫煙率の低減を図る。

イ 内容：講義 教員または出前授業（三浦講師）による「たばこの健康被害」教育

学校内：文化祭等学校内行事にて、ポスター展示や測定（肺機能、酸素飽和度、味覚、ニコチン依存度）、実験展示（カイワレ大根等）、パソコンスライド使用の説明等、普及啓発活動が行われた。

学校外：実習や地域のイベント等学校外での行事にて、寸劇（パフォーマンス）や実験展示（カイワレ大根等）、測定（肺機能、酸素飽和度）、ポスター展示等、普及啓発活動が行われた。

ウ 参加学校：14校

淑徳大学看護学部看護学科、国立病院機構千葉医療センター附属千葉看護学校、千葉県立鶴舞看護専門学校、君津中央病院附属看護学校、成田赤十字看護専門学校、船橋市立看護専門学校、千葉県立野田看護専門学校、東邦大学佐倉看護専門学校、山王看護専門学校、勤医会東葛看護専門学校、社会保険船橋保健看護専門学校、千葉中央看護専門学校、国保小見川総合病院付属看護専門学校、市原看護専門学校

(2) 新人看護職への普及啓発

対象：看護協会のフレッシュセミナー参加者1,001名

①フレッシュセミナー(春)の受講生にたばこに関する調査の実施

方法：記述式アンケート調査

内容：喫煙率・喫煙の時期と背景・たばこの健康被害の教育を受けた時期・禁煙の意思・支援体制等

結果：ア 回収率：99.2%（993名）

イ 喫煙率：15.7%（156名） 男性：43.7%（前年比11.3ポイント増）

女性：11.6%（前年比1.3ポイント減）

ウ 喫煙開始時期：看護学生21.9%（前年比1.3ポイント減）

小学生から高校まで46.6%（前年比0.3ポイント増）

その他（社会人経験時等）29.3%（前年比15.1ポイント増）

エ 喫煙のきっかけ：興味本位40.8%、友人が吸っていた27.5%

②健康教育

方法：フレッシュセミナー時にたばこに関する教育指導の時間を設ける

内容：ア たばこの健康被害に関する冊子の配布と説明

イ 喫煙者への相談・指導

(3) まとめ

看護職の喫煙率が、一般女性喫煙率の約2倍であることから、看護師になる手前の看護学生にターゲットを絞り、事業を企画し実施してきた。その結果、県内の1/3の学校でたばこの健康被害の授業ができ、さらに授業を受けた学生による地域住民等への健康教育へと発展できたことは実施した学生や学校の認識・行動の変化として効果を奏したと考える。

一方、新人の喫煙率は横ばいであり、その要因は社会人入学生が増えたこと、男性の喫煙率の増加が要因となっていたことから、次年度は健康教育と併せて禁煙支援の検討を進めていきたい。

5 災害支援対策事業

1. 災害時における日本看護協会及び各都道府県看護協会との連携

(1)日本看護協会との合同派遣訓練

日 時 9月26(水)~28日(金)

参加数 56施設

(2)日本看護協会東日本大震災支援金

「大槌町子どもたちを支える会」申請額 1,000,000円 (承認額 500,000円)

2. 災害時における千葉県・市町村と関係機関の連携

(1)九都縣市合同防災訓練 千葉県会場

日 時：9月1日(土) 12:00~15:00

会 場：市川市江戸川河川敷緑地

参加者：26名(市川地区部会看護職20名 協会6名)

(2)九都縣市合同防災訓練 千葉市会場

日 時：9月1日(土) 9:00~12:00

会 場：千葉県立千葉北高等学校

参加者：3名 (千葉地区部会看護職2名 協会1名)

(3)船橋市防災訓練

日 時：8月26日(日) 9:20~12:00

会 場：船橋市内各小学校

参加者:64名 (船橋地区部会看護職)

3. 災害に備えた支援体制の整備

(1)目 的

災害支援ナースは、被災者が健康レベルを維持できるように、適切な医療・看護を提供することと、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるように努める。

(2)災害支援ナース登録要件設置による新規登録者

127名

4. 地域における高齢者等見守り支援アドバイザー設置事業

(1)目 的

東日本大震災により被害を受けた地域において、援護を必要とする高齢者等の支援に当たる者の活動を支援するため、地域における高齢者等見守り支援アドバイザーを設置する。

(2)実施内容

①見守り支援アドバイザー活動

生活支援アドバイザー、市職員等が行う要援護高齢者等への支援活動に関する状況を把握し、支援者からの相談に応じ指導を行うとともに、困難事例については支援者からの要請に応じて同行訪問を行う。

・支援者に対する支援：198件

・住民個人への支援：相談 208件、同行訪問 215件

・関係者調整会議

香取市：第1回 (5/15)、第2回 (2/7)

旭 市：第1回 (5/17)、第2回 (10/26)、第3回 (2/4)

・事例検討会(香取市)

日 時：11月27日 (火)

テーマ：「支援に繋がらない処遇困難な母子世帯」

助言者：千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎美砂子氏

参加者：12名（出席者9名、関係者3名）

②研修会の開催

第1回研修会

日 時：11月1日（木）

会 場：旭市働く婦人の家（旭市保健センター2階）

テーマ：「災害において介護支援専門員等に期待されること」

対象者：介護支援専門員、保健師等

講 師：千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎美砂子氏

参加者：44名（出席者39名、関係者5名）

第2回研修会

日 時：11月27日（火）

会 場：香取市佐原中央公民館 3階視聴覚室

テーマ：「災害時の保健活動について」～今回の経験からの学びを今後に活かしていくために～

対象者：香取管内保健師等

講 師：千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎美砂子氏

参加者：29名（出席者25名、関係者4名）

第3回研修会

日 時：1月23日（水）

会 場：ホテルポートプラザちば

テーマ：「石巻赤十字病院の100日間」

対象者：看護協会会員代表者、看護職ほか

講 師：石巻赤十字病院 副院長兼看護部長 金 愛子氏

参加者：219名（出席者190名、関係者29名）

③報告書の作成

500部作成、関係機関に送付

④地域における高齢者等見守り支援アドバイザー設置事業委員会

第1回(5/30)、第2回 (2/21)

まとめ

- ・九都県市合同防災訓練千葉県会場に参加した看護職員から、色々な職種の動きを見ることができてとても参考になったという感想が聞かれ、自施設としての取組みを再考する機会となった。
- ・見守り支援アドバイザーは、生活支援アドバイザーや市の保健師等、被災者の支援にあたる者に対して専門的な助言指導を行う活動を実施してきた。このことにより、生活支援アドバイザーが、要援護高齢者等への健康面の支援という課題に対し気軽に相談できることになり、住民ニーズに即した速やかな支援に繋げることが可能となった。

また、研修会での石巻赤十字病院の看護部長による体験の講義は、各病院における取組みを見直すきっかけとなった。

6 千葉県小児救急電話相談事業

1. 目的

夜間に起こる小児の急な病気に対する保護者からの電話相談に応じ、保護者の不安を解消し、適切な受診判断を助け、救急医療の適正な利用を促進する。さらに経験豊かな看護相談員を確保し、相談員の資質の向上と円滑な相談対応ができる体制づくりをする。

2. 実施内容

(1) 相談員の登録・派遣

①相談体制

相談日 : 365日 19:00~22:00

相談体制 : 平日 看護師3名、土日祝日 看護師4名、後方支援医師1名

登録相談員 : 24名輪番制

②相談件数 : 19,569件 (1日平均53.6件 23年度実績52.0件)

(2) 相談員の勤務調整

2ヶ月毎に勤務表作成

(3) 相談員研修会の開催

①登録相談員の研修会

第1回

日時: 10月14日(日) 13:30~17:30

場所: 千葉県医師会会議室

ねらい: 保護者等への対応技術の研鑽のため、自分のコミュニケーションのくせや傾向に気づき、聴くことの難しさや大切さを学び、相談員としてのコミュニケーションスキルの向上を目指す。

内容: 講演 「コミュニケーションとストレスの理解~より良い相談業務のために」

講師 医療法人鉄蕉会亀田総合病院 臨床心理室 富安 哲也 氏

参加者 26名(うち相談員20名)

第2回

日時: 3月10日(日) 10:00~16:30

場所: 千葉県看護会館 大研修室

ねらい: 誤飲、誤嚥に焦点をあて、緊急時の適切な受診判断基準を学ぶ。

最近の母親の傾向を理解し、相談員としてのコミュニケーションスキルの向上を目指す。

内容: 講演1 「小児の誤飲と誤嚥」

講師 総合病院国保旭中央病院 小児科主任部長 本多 昭仁 氏

講演2 「共感を表現し、話を引き出すコミュニケーション・スキル」

講師 産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター

特別研究員 掛札 逸美 氏

参加者 33名(うち相談員22名)

②新規相談員の研修会

日時: 平成24年7月15日(日) 15:30~19:00 2名

場所: 千葉県看護会館小会議室

内容: 相談員の心得について

相談員マニュアルについて

相談事例について

勤務体制について
研修について
施設の設備や使用方法
実際の相談見学

③外部研修会

小児救急電話相談スキルアップ研修（日本小児保健協会）

【基礎コース】

日 時：9月27日（木） 13：00～17：00

場 所：岡山コンベンションセンター

内 容：小児救急の電話相談の社会的な意義や相談スキル、受療行動へのアドバイスとともに相談者に安心を与える電話対応のあり方などの理解を目的とした講義、演習、グループワーク
受講者：1名(相談員歴7年)

【実践コース】

日 時：1日目 11月23日（金） 13：00～17：00

：2日目 11月24日（土） 9：00～15：00

場 所：社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所

内 容：自らの電話対応の傾向を理解し、相談者をエンパワーメントする相談技法の向上などを
目指すためのSP（模擬相談者）を用いた電話相談実技、グループワークによる討論、講義
受講者：1名（相談員歴7年）

小児救急電話相談対応者研修（厚生労働省医政局）

日 時：12月15日（土） 10：00～17：00

場 所：ダイヤル・サービス株式会社

内 容：小児救急電話相談事業（#8000）について、電話相談業務において信頼感と安心感を得るために必要な聞き方、話し方、現代子育て事情、
事例研究1（応対音声事例を聞く・ワークショップ）、
事例研究2（ロールプレイング）、相談対応者によるシンポジウム
受講者：1名（相談員歴4年）

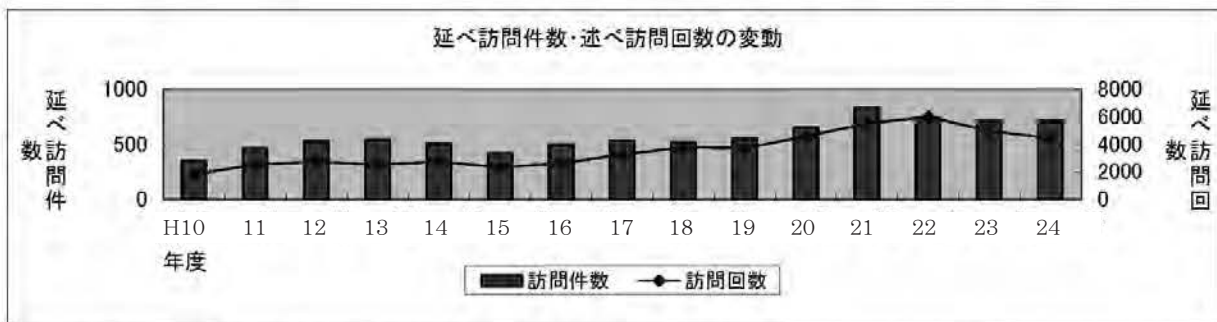
（4）千葉県小児救急電話相談運営協議会への出席 年2回（8/10、3/7）

Ⅴ 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業 並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業

1 訪問看護事業

(1) 訪問看護及び居宅介護支援事業の延べ実績

保険区分	事業年度	H10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
介護保険での訪問看護	件数			428	447	409	315	349	367	332	347	421	553	464	479	467
	訪問回数			2,104	1,946	2,025	1,498	1,568	1,716	1,566	1,640	2,072	2,844	2,950	2,557	2,354
医療保険での訪問看護	件数			97	95	94	99	149	161	192	201	235	278	280	231	246
	訪問回数			645	578	718	827	1,058	1,550	2,205	2,064	2,501	2,662	3,028	2,421	3,096
合計	訪問件数	349	464	525	542	503	414	498	528	524	548	656	831	744	710	710
	訪問回数	1840	2550	2,749	2,524	2,743	2,325	2,626	3,266	3,771	3,704	4,573	5,508	5,984	4,978	4,450
	常勤換算									4.1	4.4	5.6	6.0	6.8	5.7	7.2
居宅支援事業	プラン件数			467	430	414	371	610	600	450	437	572	732	736	667	672



* 平成24年度の常勤換算人数が平均7.2人だが、そのうち新卒者が2名、新入所者が1名で、月平均訪問看護数は371件であった。新卒者のトレーニングもあり、5.2人で1人1日平均3.3件を訪問している。

*保険別で見ると、医療保険より介護保険の方が利用者・訪問回数が多い。

*居宅支援ではケアマネージャの常勤換算が1.6人で、月平均56件であった。

(2) 難病・癌患者の延べ人数と看取り数

年度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
述べ訪問件数	542	503	414	498	528	524	548	656	831	744	710	710
難病の延べ人数	24	50	44	71	90	138	164	161	146	171	145	149
癌患者の述べ人数	20	20	32	70	75	59	51	86	84	76	65	83
看取り数	8	6	5	10	11	14	13	23	32	36	26	25
(うち在宅での看取り)					2	4	10	12	16	21	11	16

*難病の延べ人数は平成18年度から増加している。
癌患者述べ人数と看取りの述べ人数は平成20年度から増加している。

*看取りの内、約半分以上の方が在宅で看取られている。

